

ユーザーズマニュアル

Tobii C-Series

C8

C12

C15

CEye

tobii

Celebrating Communication

Tobii C-Series ユーザーズマニュアル

内容は予告なしに変更されることがあります。
本マニュアルの最新バージョンについては、Tobii
のウェブサイト、www.tobii.com をご覧ください。

マニュアルバージョン 2.8

09/2012

無断複写・転載を禁じます。

© Tobii Technology AB

本書に含まれる情報は、Tobii Technology の所有物
です。Tobii Technology による書面による事前の承
認なしに、一部または全部を問わず複製を行うこ
とを禁じます。

米国特許 7,572,008 (Tobii CEye に適用)

Tobii_manual_Cseries_V2_8_I2092012_JA

目次

1	はじめに	6
1.1	使用目的	6
1.2	パッケージの内容	7
1.3	カスタマーサポート	7
1.4	保証	7
2	セーフティ	8
2.1	聴覚の損傷を防ぐために	9
2.2	接続に関する警告	9
2.3	緊急時の警告	9
2.4	赤外線についての警告	10
2.5	てんかんに関する警告	10
2.6	子供の安全	10
3	Tobii C8、Tobii C12 および C15 の概要	11
3.1	主要な機能	11
3.2	本機について	11
3.2.1	Tobii C8、Tobii C12 および Tobii C15	11
3.2.2	ポート、センサーおよびデバイスのボタン	12
3.3	プリインストールされているソフトウェア	13
3.4	デバイスの設定	13
4	Tobii C-Series のバッテリー	14
4.1	バッテリー	14
4.1.1	ホットスワップ可能	14
4.2	充電	14
4.2.1	充電レベルの確認	15
4.3	バッテリーの挿入と取り外し	16
5	Tobii C-Series の使用	18
5.1	デバイスの起動	18
5.1.1	パスワード情報	18
5.1.2	C-Series Welcome Guide	19
5.1.3	C-Series Welcome Center	20
5.1.4	C-Series Update Notifier	21
5.2	デバイスの終了	23
5.3	スイッチに電源オン/オフ機能を設定する	24
5.3.1	スイッチに電源オン機能を設定する	24
5.3.2	スイッチに電源オフ機能を設定する	24

5.4 セーフティ設定: C-Series Hardware Options	25
5.4.1 オーディオのセーフティ	25
5.4.2 温度制御セーフティ	26
5.4.3 今後のセッション用に変更を保存	27
5.4.4 スタートアップ時にセーフティページのデフォルト表示を無効にする	27
5.5 ユーザ用にタッチスクリーンを適合させる	28
5.5.1 タッチスクリーンのキャリブレーション	28
5.6 パックライトの調整	30
5.6.1 音声の調整	31
5.7 ヘッドホンの使用	32
5.8 Bluetooth® の使用 (オプション)	32
5.8.1 ライセンスの扱い	32
5.8.2 Bluetooth® 通信を有効/無効にするには	32
5.8.3 Bluetooth® 機器との接続	33
5.9 WLAN の使用 (オプション)	33
5.9.1 ライセンスの扱い	33
5.9.2 WLAN 通信を有効/無効にする	34
5.9.3 WLAN への接続	34
5.10 カメラの使用	35
5.11 携帯電話の使用 (オプション)	35
5.11.1 ライセンスの扱い	36
5.11.2 携帯電話を有効/無効にする	36
5.12 環境制御の使用(オプション)	37
5.12.1 ライセンスの扱い	37
5.12.2 Tira の有効化/無効化	37
5.13 アクション用にショートカットを作成する	38
5.13.1 使用可能なアクション	39
5.13.2 アクションの選択	40
5.14 ライセンスの扱い	42
5.15 システム情報	43
5.16 バックアップと復元の実行	43
5.16.1 ユーザープロフィール カード	43
5.16.2 ユーザーによるバックアップファイルの復元	44
5.16.3 C-Series デバイスを工場出荷時の設定に戻す:	44
6 Tobii CEye モジュールと Eye Control	46
6.1 Tobii CEye モジュールのインストール	46
6.1.1 必要なソフトウェア	46
6.1.2 視線制御ソフトウェアの USB スティックからのインストール	46
6.1.3 CEye モジュールを Tobii C12 または C15 に装着する	48
6.2 Tobii CEye モジュールの使用	50
6.2.1 位置調整	50
6.2.2 トラックステータス・ビューアー	50

6.2.3	トラックボックス	51
6.2.4	Tobii Eye Control Options へのアクセス	52
6.2.5	新規プロファイルの作成	53
6.2.6	現在のユーザープロファイルの選択	53
6.2.7	プロファイルの削除	54
6.2.8	インターラクションのカスタマイズ	54
6.2.9	トラックステータスの表示	56
6.3	キャリブレーション	57
6.3.1	キャリブレーションの開始	57
6.3.2	キャリブレーションの中止	57
6.3.3	アクティブな目のカスタマイズ	57
6.3.4	キャリブレーション・ポイントの改良	58
6.3.5	キャリブレーション・ポイントの削除	59
6.3.6	キャリブレーションのカスタマイズ	60
6.3.7	キャリブレーション範囲のカスタマイズ	62
6.4	ウィンドウズ制御	63
6.4.1	ウィンドウズ制御の起動と無効化	63
6.4.2	ウィンドウズ制御の種類	63
6.4.3	Gaze Selection	64
6.4.4	Mouse Emulation	74
7	製品のお手入れ	79
7.1	温度と湿度	79
7.1.1	一般的の使用	79
7.1.2	移動と保管	79
7.2	サイドカバーの交換	79
7.3	クリーニング	80
7.3.1	スピーカーメッシュのクリーニング	81
7.4	配置	81
7.5	C-Series デバイスの持ち運び	82
7.6	バッテリーの廃棄	82
7.7	C-Series デバイスの廃棄	82
8	付録	83
8.1	付録 A:トレーニング・リソース	83
8.2	付録 B:CEye - ソフトウェアライセンス	83
8.3	付録 C:準拠に関する情報	83
8.3.1	FCCステートメント	83
8.3.2	電波と比吸収率 (SAR) について	84
8.3.3	カナダ産業省のステートメント	89
8.4	付録 D:技術仕様書	91
8.5	付録 E:承認済みのアクセサリー	93

1 はじめに

Tobii Technology より Tobii C-Series デバイスをご購入いただき誠にありがとうございます。

本製品の最適なパフォーマンスを実現するために、本書を時間をかけてよくお読みください。

C-Series デバイスには、以下の 3 種類のサイズがあります。Tobii C8 (スクリーンサイズ: 8.4インチ)、Tobii C12 (スクリーンサイズ: 12.1インチ)、および Tobii C15 (スクリーンサイズ: 15.0 インチ) Tobii C12 および C15 は Tobii CEye と共に使用して、デバイスの視線制御機能を有効にすることができます。

本ユーザーズマニュアルでは以下を扱います。

- C-Series デバイス、モデル Tobii C8、Tobii C12 および Tobii C15。
- C-Series Hardware Options プログラム (デバイスとライセンスの管理用)。
- Tobii CEye (Windows 制御を含む視線入力モジュール)。Tobii CEye はオプション機器で、Tobii C12 および C15 と共にのみご利用いただけます。

1.1 使用目的

多様なコミュニケーション方法によって、Tobii C-Series のユーザーは潜在能力を最大限に発揮することができます。ユーザーは、文字または記号を使って合成 (コンピューター音声) またはデジタル (録音された音声) の話し言葉を生成し、対面のコミュニケーションができます。また、メール、テキストメッセージ、チャットなどでコミュニケーションをするオプションもあります。Tobii C-Series を使用すると、自由かつ柔軟に、文書の作成と編集、インターネットサーフィン、音楽やゲームのプレイ、テレビ、DVD、その他の家庭電の IR リモコンによる操作、さらにスケジュール計画と管理までが可能になります。つまり容易に主体性を持てるようになります。C-Series デバイスは、通信ソフトウェア アクセスのみを備える専用のスピーチ生成デバイスとして、または通常の Windows 環境へのアクセスを備えるオープンデバイスとして利用可能です。

- C-Series デバイスは唯一のコミュニケーション手段としてではなく、補足的なコミュニケーションソリューションとして意図されています。追加手法として用いられている、ローテクとノーテクの支援・代替コミュニケーション (AAC) ソリューションは、ハイテクの AAC デバイスを活用しているあらゆるユーザーに、ベストプラクティスとして推奨されます。

1.2 パッケージの内容

以下のアイテムが C-Series のパッケージに含まれています。

- Tobii C8、Tobii CI2 または Tobii CI5
- 充電式のリチウムイオン (LiPo) バッテリー2個
- 様々な地域用の電源プラグを含む、DC アダプターと充電器
- ショルダーストラップ用に延長可能なキャリーストラップ (C8とCI2 用)
- ユーザーズマニュアル(本書)
- 基本操作ガイド
- 3対のサイドカバー、黒のカバーがデバイスに装着されています。
- スタイラスペン1本
- システム復元ディスク
- 通信ソフトウェア インストールディスク (注文した場合)

Tobii CEye パッケージ (Tobii CI2 または CI5 に付属の場合):

- 2つのねじ付きの Tobii CEye モジュール
- Torx T0 のドライバー1本
- 基本操作ガイド
- 最新の必要なソフトウェアが入った USB スティック1本

1.3 カスタマーサポート

サポートが必要な場合は、地域の代理店、または Tobii のサポートまでご連絡ください。速やかな対応を受けられるよう、C-Series デバイスへのアクセス、および可能な場合はインターネット接続を準備しておいてください。サポートには、デバイスの背面または C-Series Hardware Options にあるデバイスのシリアル番号も必要です。**Tobii C-Series の使用について** の章の **システム情報** の項を参照してください。

商品に関する詳細情報とその他のサポート情報に関しては、Tobii コミュニティー www.mytobiicomunity.com と Tobii のウェブサイト www.tobii.com を参照してください。

1.4 保証

デバイスの使用前に、ユーザーズマニュアルをよくお読みください。デバイスがユーザーズマニュアルに従って利用されており、保証シールがやぶれていない場合に限り保証は有効です。C-Series を分解した場合、保証は無効になります。

2 セーフティ

C-Series のデバイスはすべての規格仕様書に従い、試験および承認されています。その規格仕様書は本マニュアルの **8.3 付録 C: 準拠に関する情報** セクションと、**8.4 付録 D: 技術仕様書** セクションに記載されています。これには、医療機器規格 (クラス 1/タイプ B) が含まれますが、これに限定されません。それにも関わらず、Tobii C-series デバイスを安全に操作するために、配慮すべきいくつかの安全に関する警告があります。

- ⚠️ ひざ、枕、またはその他、軟質材料の上にデバイスを乗せないでください。ファンが物体により塞がり、デバイスがオーバーヒートする恐れがあります。
- ⚠️ C-Series デバイスにはリチウムイオンバッテリーが搭載されています。これらのバッテリーの保存温度範囲は-20°C から 40°C で、保存期間は3か月以内です。バッテリーのチャージを行う場合の温度範囲は 0°C ~ 40°C です。バッテリーを火気や 50°C 以上の温度にさらさないでください。前記の条件にさらすとバッテリーが故障、熱を放射、発火または爆発するおそれがあります。最悪の事態として、例えば、暑い日の車のトランク内などは上記の温度以上に達する可能性があるので注意してください。つまり、バッテリーが装着された状態でデバイスを熱くなった車のトランクに保管すると、デバイスの故障につながる恐れがあります。
- ⚠️ バッテリーを分解したり、傷つけたりしないでください。バッテリーの投棄の際には、お客様の地域の環境法や環境規制に留意してください。
- ⚠️ C-Series デバイスを安全に動作させるためには、Tobii Technology が承認する充電器、バッテリー、アクセサリーのみを使用してください。
- ⚠️ 人体が危険な電圧にさらされる可能性があるため、C-Series デバイスの金属外箱を開けたり、改造したりしないでください。デバイスには修理可能な部品は含まれていません。C-Series デバイスもしくはそのアクセサリーが機械的に損傷した場合は、**使用しないでください**。

2.1 聴覚の損傷を防ぐために

イヤホン、ヘッドホン、またはスピーカーを高音量で使用すると、永続的な難聴を引き起こす恐れがあります。これを防ぐために、音量は安全なレベルに設定してください。時間と共に高音量に対して鈍感になり、許容範囲内のように聞こえても、聴力に害を与える可能性に変わりはありません。耳鳴りのような症状が出た場合は、音量を下げるかイヤホン/ヘッドホンの使用を停止してください。音量が大きいほど、より短期間で聴覚に影響が及ぼされるようになります。

聴覚専門家は聴覚を保護するために、以下の対策を提案しています。

- 高音量でイヤホンまたはヘッドホンを使用する時間を制限する。
- 駆音環境を遮断するために音量を上げるのを避ける。
- 自分の近くで人が話しているのが聞こえない場合、音量を下げる。

安全な音量レベルを確立するために：

1. 音量コントロールを低く設定する。
2. ひずみがなく、明瞭に、無理なく音が聞こえるまで音量をゆっくり上げる。

2.2 接続に関する警告

C-Series デバイスは、認可された取付け部材または取付けブラケットに、指示通りに装着してください。ただし、何らかの理由によりデバイスが転倒し、それにより人または物体に危害または損害が与えられた場合でも、Tobii Technology またはその代理店は、発生する可能性のあるいかなる危害または損害に対して責任を負わないものとします。C-Series デバイスの装着は完全にユーザの自己責任で行われるものとします。

2.3 緊急時の警告

本デバイスを、緊急通報や銀行取引用に使用しないでください。緊急の場合に備えて複数の手段を用意しておくことをお勧めします。銀行取引は、ご利用の銀行が推奨するシステム、および銀行の基準に従って認可されたシステムによってのみ行う必要があります。

2.4 赤外線についての警告

アクティピ化すると、Tobii CEye はパリス赤外光を放ちます。医療機器の中には、赤外光および/または放射線による妨害の影響を受けやすいものがあります。精度や適切な機能性が妨げられることがあるため、そのような影響を受けやすい医療機器が近くにある場合は CEye を使用しないでください。

2.5 てんかんに関する警告

光過敏性てんかん を患う人の中には、日常生活において特定の点滅光または光のパターンにさらされた際にてんかん発作または意識消失の症状を起こす人がいます。このようなことは、てんかんの既往歴またはてんかん発作を起こしたことがない人に発生することもあります。

光過敏性てんかんを患う人は、TV 画面、特定のビデオゲーム、および点滅する蛍光灯でも症状を起こす可能性があります。このような人々は、画面上の特定のイメージまたはパターンを見る際、またはアイトラッカーの光源にさらされただけでも発作を起こす場合があります。てんかん患者の約 3 ~5% の人々がこのタイプの光過敏性てんかんであると見積もられています。光過敏性てんかん患者の多くは、発作が起こる前に「オーラ」や、奇妙な感覚を体験します。使用中に奇妙な感じがしたら、目をアイトラッカーからそらしてください。

2.6 子供の安全

C-Series は高度なコンピューターシステムであり、また電気機器です。そのため、本製品は複数の別個の、組み立てられた部品で構成されています。子供の手により、これらの部品の一部は機器から取り外される可能性があり、子供の窒息の危険性またはその他の危険を呈することになり得ます。小さいお子様は、両親や保護者の監視なしにデバイスに接したり、使用してはいけません。

3 Tobii C8、Tobii C12 および C15 の概要

3.1 主要な機能

C-Series には複数の機能が搭載されています。これらの一部の機能は標準装備されていますが、その他は追加機能としてご注文いただけます。

標準機能: カメラ、マイクロホン、スピーカー。

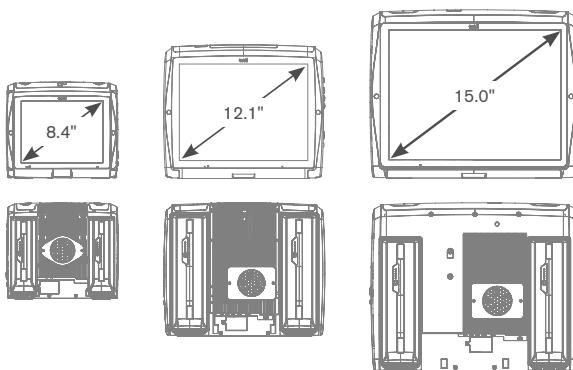
追加機能: ECU (環境制御ユニット)、ブレードウース、携帯電話と WLAN (無線ローカルエリアネットワーク)。

追加機能は初回注文と共に、または配達後に追加ライセンスとしてもご注文いただけます。ライセンスの注文については Tobii カスタマーサービス、再販業者、または販売代理店へお問い合わせください。

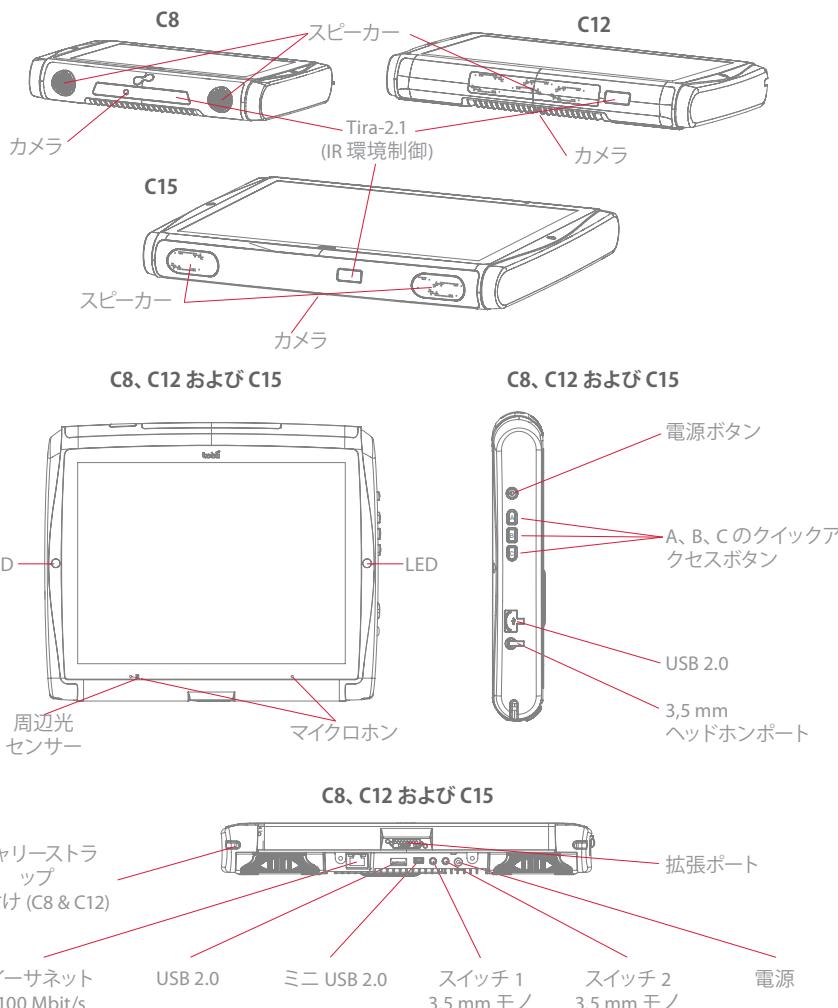
3.2 本機について

C-Series デバイスにはタッチスクリーンのカラー TFT ディスプレイが備わっています。Tobii C8 の画面は解像度 800x600、サイズ 8.4 インチの画面、そして Tobii C12 には解像度 1024x768、サイズ 12.1 インチの画面が付いています。そして Tobii C15 には解像度 1024x768、サイズ 15.0 インチの画面が付いています。

3.2.1 Tobii C8、Tobii C12 および Tobii C15



3.2.2 ポート、センサーおよびデバイスのボタン



● 決してコネクターをポートに押し込まないでください。コネクタとポートが簡単に接続できない場合は、おそらく適合性に問題があります。コネクタとポートに適合性があり、コネクタがポートに正しく接続されたことを確認してください。

3.3 プリインストールされているソフトウェア

C-Series デバイスは注文されたソフトウェア、および必要なソフトウェアがすでにインストールされ、すぐに使える状態で配達されます。あらゆる段階で再インストールが必要になった場合のために、セットアップファイルとディスクが含まれています。

Windows® を再インストールする必要が生じた場合、Windows® の商品番号は C-Series デバイスの背面にあります。

3.4 デバイスの設定

デバイスのハードウェア機能を設定するには、プリインストールされた **C-Series Hardware Options** を使用します。以下の内の1つの方法で **C-Series Hardware Options** にアクセスできます。

- スタートメニュー > コントロールパネル に進みます。



- コントロールパネルがクラシック表示になっている場合は、**C-Series Hardware Options** をダブルクリックします **C**。コントロールパネルがホーム表示になっている場合は、追加オプション > **C-series Hardware Options** をクリックします。

または

- デスクトップの **C-Series Hardware Options** のショートカット、**C** をダブルクリックします。

または

- スタート メニュー > すべてのプログラム > Tobii > **C-Series Hardware Options** に進みます。
- C-Series Hardware Options** をクリックします **C**。

リストの左側から変更するハードウェア設定を選択します。リストの右側に様々な設定が表示されます。変更は即座に実行されます。変更をキャンセルする場合は **キャンセル** をクリックしてください。

? のアイコンがあるところでは、アイコン上を短い間マウスオーバーさせるか、または画面上のアイコンに触ると、情報ボックスが表示されます。

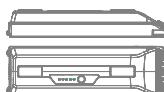
4 Tobii C-Series のバッテリー

4.1 バッテリー

C-Series デバイスには2つのバッテリーケースがあります。Tobii C8 のバッテリーは Tobii C12 および C15 のバッテリーとはサイズと容量が異なります。
付録 C を参照してください。技術仕様書 を参照してください。

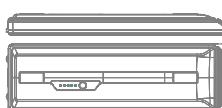
Tobii C8 のバッテリー:

- 標準、同梱されています。



Tobii C12 および C15 のバッテリー:

- 標準、同梱されています。



4.1.1 ホットスワップ可能

残りのバッテリーが十分に充電されている場合は、デバイスの電源を切らずに1つのバッテリーを取り外し/交換できます。デバイスが動作するには、残りのバッテリーは少なくとも5%充電されている必要があります。

4.2 充電

バッテリーは、同梱のアダプター、または Tobii C-Series テーブル充電器（同梱されていません。別途購入が必要です）を使ってのみ充電してください。C-Series デバイスに電源が入っておらず、アダプターのプラグが差し込まれている状態では、完全に放電されたバッテリーの充電には最高 6 時間かかります。デバイスはバッテリーの充電中も使用できますが、バッテリーが完全に充電されるまでの時間は長くなります。

⚠️ C-Series デバイス内と、C-Series テーブル充電器の使用時両方で充電が発生するように、バッテリーを挿入する「前」に、アダプターが壁のコンセント、およびデバイスまたは充電器の両方に差し込まれていることを確認してください。

バッテリーの推定寿命は 500 充電/放電サイクルです。その後は、バッテリー容量は、使用時間において約20%減ります。

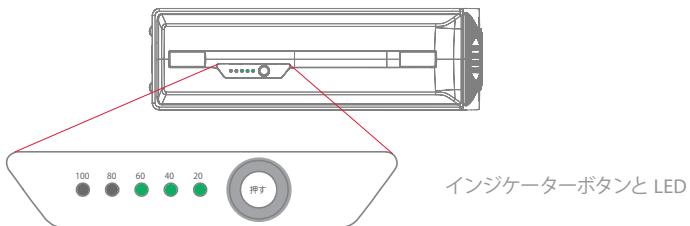
バッテリーの保存温度と充電温度については、**セーフティ** の章をご覧ください。

4.2.1 充電レベルの確認

通知領域のバッテリーのアイコン、をクリックすると、デバイスに装着されているバッテリーの残量を確認できます。



また、バッテリー表面のインジケーターを押すと、バッテリーのステータスを一つでも確認できます。5つのLED(発光ダイオード)は残りの充電レベルを示します。例えば、LEDが3つ光る場合は、残りの充電は60%であることを示します。



充電中は、最大容量の LED インジケーターが点滅します。

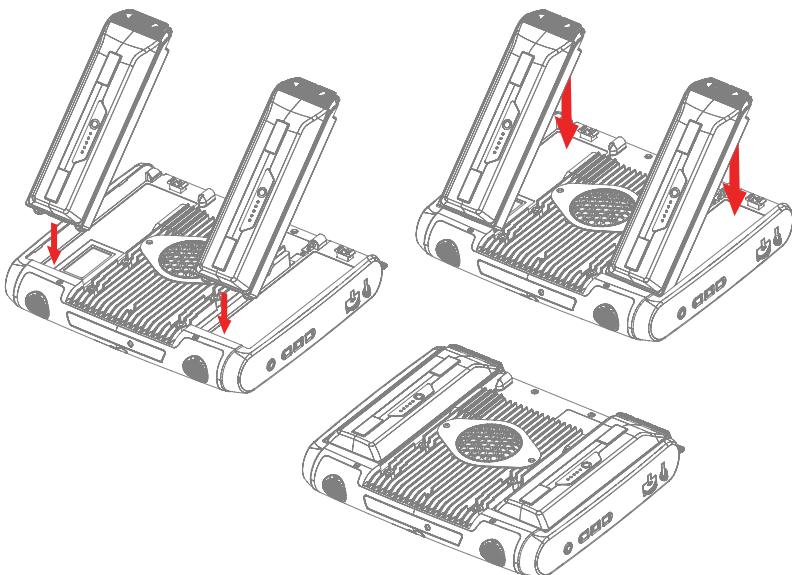
- ① バッテリーの容量が10%未満に下がった場合にインジケーターを押されると、最小容量の LED インジケーター（「20」LED）もまた点滅します。そのため、20% インジケーターの点滅を充電の保証として考えてはいけません。
- ② バッテリーの放電量が多い場合は（これは、電源アダプターを接続せずに、空のバッテリーを C-Series デバイスに挿入されたままにした場合に発生することがあります）、アダプターを C-Series デバイスまたはテーブル充電器に適切に再接続したときに、充電の兆候が見えない場合があります。充電が行われていることを示す LED が現れるまでに、多少時間がかかることがあります（最高 20 分）。この間にバッテリーは充電されますが、これは通常の充電を開始するのに十分になるまでレベルを上げるリカバリ充電です。

4.3 バッテリーの挿入と取り外し

安全上の理由から、C-Series デバイスはバッテリーが挿入されていない状態で配達されます。またバッテリーは完全に充電されていない状態で配達されますが、C-Series デバイスは直ちにご利用いただけます。ただし、少なくとも2時間充電した後にデバイスをご利用することをお勧めします。

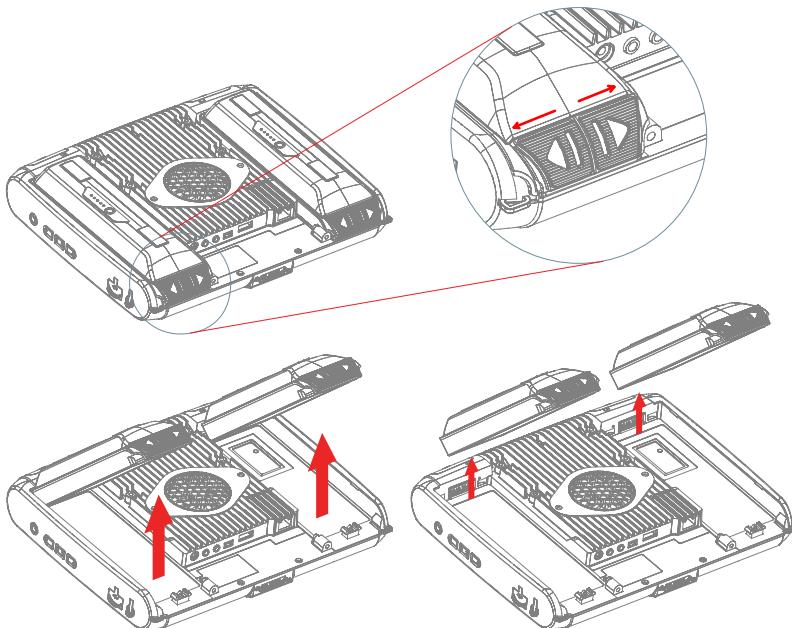
ノバッテリーの挿入:

1. C-Series デバイスを平らな面に画面を下にして置いてください。
2. バッテリーをバッテリーケースに挿入します。
3. 所定の位置にロックされるまでバッテリーを下向けて押してください。バッテリーが所定の位置にロックされたことを示す、カチッとという音が聞こえます。



バッテリーの取り外し:

1. C-Series デバイスを平らな面に画面を下にして置いてください。
2. バッテリーのゴム足を両手でスライドして開きます。ロックが解除されるときにカチッという音がします。
3. バッテリーを持ち上げてデバイスから取り出します。



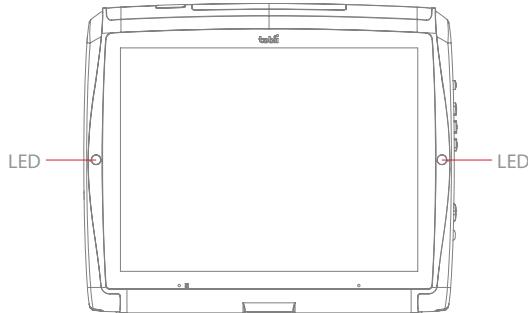
5 Tobii C-Series の使用

5.1 デバイスの起動

以下の内の1つの方法でデバイスを起動します。

- デバイスの右側の電源ボタンを押します。↓
- 設定済みのスイッチを有効にします ([スイッチの電源オン/オフ設定](#) を参照)。

デバイスを起動すると、ディスプレイの起動時に、ディスプレイの両側の LED が最初は青く光ってから、緑色に変わります。



5.1.1 パスワード情報

C-Series デバイスは、現存のオペレーションシステムではパスワードなしに起動するように設定されています。パスワードポップアップ画面が出てくることが稀にあります。たとえばオペレーションシステムで新規ユーザーを作成しているときや、オペレーションシステムのスリープモードから復帰するとき、またはインターネットでソフトウェアの更新をダウンロードしている時などです。

新規ユーザの作成やインターネットからの更新のダウンロードによって、Tobii Technology で設定およびインストールされたオペレーティングシステムのシステムとソフトウェアの設定が損なわれる可能性があります。

パスワードポップアップ画面が現れてパスワードの入力が必要な場合、すべての C-Series デバイスのデフォルトのパスワードは「**Tobii**」(大文字と小文字を区別)です。パスワードを入力するには、外付けの USB キーボードが必要です(同梱されていません)。

パスワードを変更する場合は、必ず書き留めて、後で参照できるように安全な場所に保管してください。

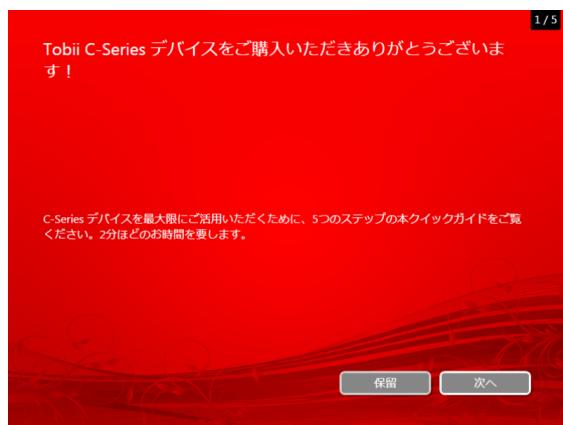
新しいパスワードの保管に推奨の場所: _____

オペレーティングシステムのアクセスパスワード無しでは、Tobii サポートはお客様の将来発生する問題への支援ができない場合があります。

5.1.2 C-Series Welcome Guide

C-Series デバイスを初めて起動すると、C-Series Welcome Guide が表示されます。このガイドは、デバイスを最大限に活用できるように、4つのステップで段階的に説明するセットアップガイドです。

インストラクションに従い、**次へ** をクリックし、ガイドの次のページに進んでください。



注記: このガイドはわずか2分で完了しますが、ガイドを見ない場合は**保留**をクリックしてください。Welcome Guide を保留にした場合は、次回にデバイスを起動したときに再度現れます。

5.1.3 C-Series Welcome Center

C-Series Welcome Center は C-Series デバイス上のプログラムで、C-Series Welcome Guide を利用した初回のセットアップ中に選択した設定にアクセスして変更したり、または Welcome Guide を希望の時間に再度実行したりすることもできます。

C-Series Welcome Center を開くには:

- ウィンドウズのデスクトップで、**スタートメニュー > すべてのプログラム > Tobii > C-Series Welcome Center** に移動してから、C-Series Welcome Center アイコン、 をクリックします。

または

- ウィンドウズのデスクトップで、**スタートメニュー > コントロールパネル > 追加オプション** に移動してから、C-Series Welcome Center アイコン、 をクリックします。

または（ウィンドウズのコントロールパネルで「クラシック表示」を使用している場合）

- ウィンドウズのデスクトップで、**スタートメニュー > コントロールパネル** に移動してから、C-Series Welcome Center アイコン、 をクリックします。

C-Series Welcome Center では以下のことができます。

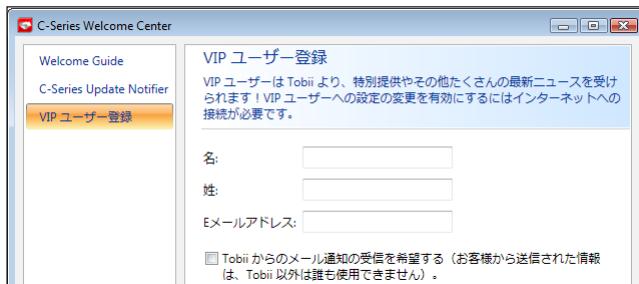
- C-Series ガイドを直ちに実行、または次回のスタートアップ時に実行するように選択



- Tobii ソフトウェアの自動更新の有効化、または更新の即座の検索を選択(インターネット接続が必要です)。



- VIP ユーザーとして登録。



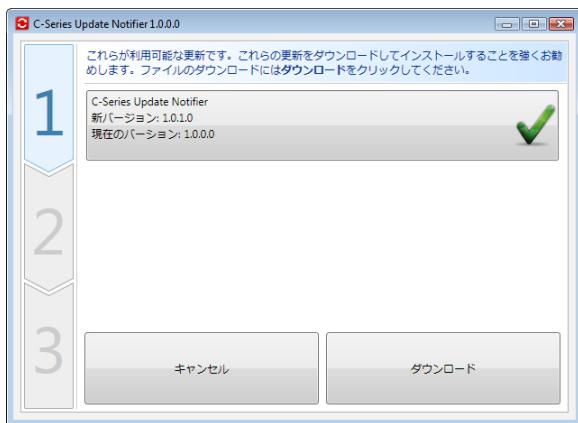
5.1.4 C-Series Update Notifier

Tobii C-Series Update Notifier は、Tobii ソフトウェアの最新のソフトウェア更新が利用可能になったときに(自動、定期的、またはユーザーが選んだ時間に手動で更新)ユーザーに通知し、インストールの支援をするプログラムです。

C-Series Welcome Guide で、または後に C-Series Welcome Center で「自動更新の有効化」を選択すると、Update Notifier は Tobii のウェブサイトにてお使いのソフトウェアのバージョン用の更新を自動的に検索します。

- お使いの C-Series デバイスを正常に動作させ続けるためには、Tobii ソフトウェアを定期的に更新することを強くお勧めします。従って自動更新を有効にすることをお勧めします。

更新が見つかった場合には、以下の Update Notifier のポップアップ画面が現れます。



利用可能な更新が、Update Notifier のステップ1の画面に表示されます。画面右側の緑のチェックマークの付いた大きなボタンがその更新に当たります。また、現在お持ちのソフトウェアと更新の、両方のバージョン番号も表示されます。

利用可能な更新をダウンロードしない場合は、更新しない分のボタンをクリックすると、その更新のチェックマークが赤に変わり、「X」が付きます。

以下の手順で進めてください。

- デバイスの更新をダウンロードするには **ダウンロード** ボタンをクリックして、ステップ2に進みます。
- ステップ2で、**インストール** ボタンをクリックすると選択した更新がインストールされ、ステップ3に進みます。
- ステップ3では、お使いのシステムが更新されたことを知らせる画面が表示されます。終了ボタンをクリックして Update Notifier を閉じます。

「自動更新を有効化」を選ばなかった場合、C-Series Update Notifier を使って Tobii ソフトウェアの更新を確認して手動でダウンロードすることができます。

C-Series Update Notifier を手動で開いて有効化させるには(上記のステップ 1 の画面が開き、同様の自動化更新プロセスが開始します):

- ウィンドウズのデスクトップから **スタートメニュー > すべてのプログラム > Tobii > C-Series Update Notifier** に移動してから、C-Series Update Notifier アイコン、 をクリックします。

5.2 デバイスの終了

以下の内の1つの方法でデバイスを終了します:

- ウィンドウズのスタートメニューを使用(可能な場合はこの方法をお勧めします)。
- 設定済みのスイッチを2~7秒間押し続ける。スイッチを7秒以上押し続けると、保存されていない変更を無視してデバイスが直ちに終了しますので注意してください。

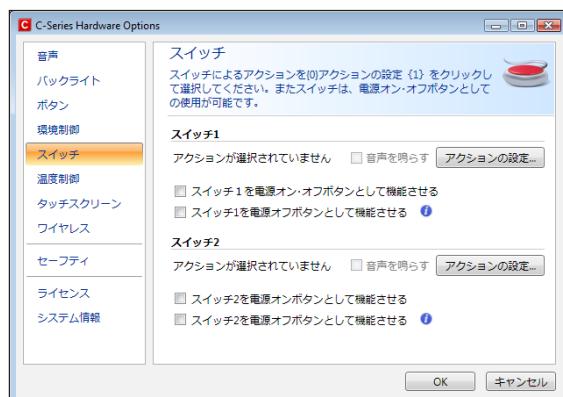
上記の両方の方法でデバイスを終了できなかった場合は、デバイスの右側にある電源ボタンを5秒間押し続けてください。これによって、開いているアプリケーションが閉じるのを待たずにデバイスは即座に終了します。これは「クリーンな」ウィンドウズの終了とは見なされないため、本当に必要ではない場合には推奨されません。

5.3 スイッチに電源オン/オフ機能を設定する

5.3.1 スイッチに電源オン機能を設定する

デバイスに接続されたスイッチに電源オン機能を設定する:

1. **C-Series Hardware Options > スイッチ** を開きます。
2. **スイッチ X にデバイスの電源オン機能を有効にする** チェックボックスを選択します。無効にするには **スイッチ X にデバイスの電源オン機能を有効にする** チェックボックスをクリックして、チェックをはずします。



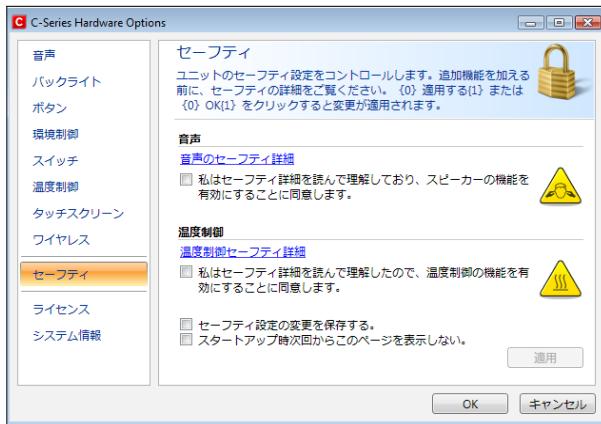
5.3.2 スイッチに電源オフ機能を設定する

デバイスに接続されたスイッチに電源オフ機能を設定する:

1. **C-Series Hardware Options > スイッチ** を開きます。
2. **スイッチ X にデバイスの電源オフ機能を有効にする** チェックボックスを選択します。無効にするには **スイッチ X にデバイスの電源オフ機能を有効にする** チェックボックスをクリックして、チェックをはずします。

5.4 セーフティ設定: C-Series Hardware Options

デバイスの起動時に、**C-Series Hardware Options** のセーフティ設定がデフォルトで自動的に開きます(初めてのデバイスの起動時には C-Series Welcome Guide のセットアップウィザードが先に開きます)。セーフティ設定はお客様の安全のためのものです。あらゆる変更に同意する前に、セーフティの詳細を必ずお読みください。



5.4.1 オーディオのセーフティ

スピーカー機能を利用し、スピーカー出力設定を **C-Series Hardware Options** > **音声** で調整する前に、音声セーフティの詳細を承認する必要があります。承認するには：

1. **C-Series Hardware Options** > **セーフティ** を開く
2. **音声セーフティの詳細** の文字をクリックします。ダイアログボックスが開き、セーフティに関する説明が表示されます。全文をよくお読みください。
3. **私はセーフティ詳細を読んで理解しており、スピーカー機能を有效地にすることに同意します** のチェックボックスを選択し、セーフティに関する説明を読んで理解したことを承認します。
4. **適用する** または **OK** をクリックして保存します。

5.4.2 溫度制御セーフティ

デバイスの使用を **C-Series Hardware Options > 溫度制御** で設定する前に、温度制御セーフティー詳細を確認しなければなりません。承認するには：

1. **C-Series Hardware Options > セーフティーを開く**
2. **温度制御セーフティーの詳細** の文字をクリックします。新しいダイアログボックスが開き、セーフティに関する説明が表示されます。全文をよくお読みください。
3. **私はセーフティ詳細を読んで理解しており、温度制御の機能を有効にすることに同意します** のチェックボックスを選択し、セーフティの説明を読んで理解したことを承認します。
4. **適用する** または **OK** をクリックして保存します。

デバイスはポータブルまたは装着モードで利用できます。選択したモードによって、デバイスに許容される最高温度とファンスピードが異なります。デバイスが装着されている状態では、より高い温度での動作が可能です。

デバイスの使用モードの指定は **セーフティ** の設定外で行われますが、**C-Series Hardware Options** の範囲内です。デバイス使用方法の指定：

1. **C-Series Hardware Options > 溫度制御** を開きます。
2. **デバイスの使用方法** からお好みのオプションをクリックします。

重要! デバイスが過熱した場合、画面両側の LED がオレンジ色に変わり、デバイスは終了します。ユニットは冷却する時間が必要なため、再起動するまでに時間がかかることがあります。

C-Series Hardware Options > セーフティ に戻り、今後のセッションのために変更を保存します。

5.4.3 今後のセッション用に変更を保存

今後のセッション用に変更を保存するには:

1. **今後のセッション用に変更を保存する** チェックボックスを選択します。
2. **適用する** または **OK** をクリックして保存します。音声と温度制御の両方の設定はメモリに保存されます。**適用する** または **OK** をクリックしたときにこのチェックボックスが選択されていない場合は、設定はログアウト前までしか保存されません。

5.4.4 スタートアップ時にセーフティページのデフォルト表示を無効にする

セーフティページは C-Series デバイスが起動したときにデフォルトで表示されます。表示を無効にするには:

1. **C-Series Hardware Options > セーフティを開きます。**
2. **このページをスタートアップ時に表示しない** チェックボックスを選択します。
3. **適用する** または **OK** をクリックして保存します。

5.5 ユーザ用にタッチスクリーンを適合させる

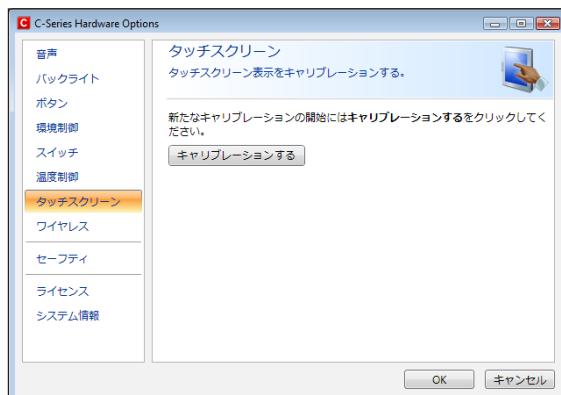
タッチスクリーンはユーザーの感触を読み取って、ユーザーの指が画面に触れた場所にカーソルを移動させます。タッチスクリーンは、別のタッチスクリーン ソフトウェア TouchKit (Windows Vista)や eGalaxTouch (Windows 7)によって、または C-Series Hardware Options 内で、ユーザー接触に合わせて「キャリブレーションさせる」ことができます。

- ① タッチスクリーン上では指またはスタイルスを使ってください。画面に傷が付いたり破損したりする恐れがあるので、先のとがった物は使わないでください。

5.5.1 タッチスクリーンのキャリブレーション

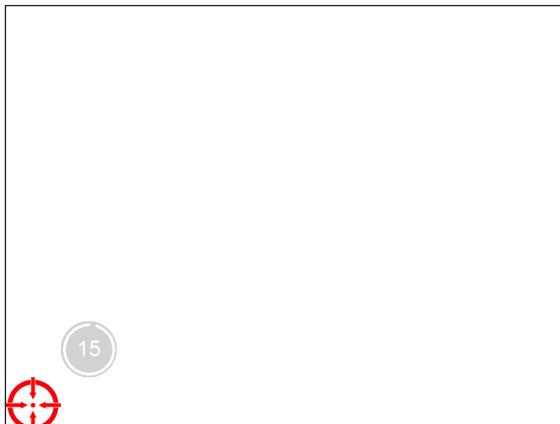
C-Series Hardware Options でのタッチスクリーン キャリブレーションの使用:

1. **C-Series Hardware Options** > タッチスクリーンを開きます。
2. キャリブレーション ボタンを押して、タッチスクリーンのキャリブレーションを開始します。画面は白に変わり、左下の隅にプログレスバー付きのアクティブな赤のターゲットが表示されます。
3. 15 秒になるまでそのターゲットに触れたままにすると、それは黄色に変わります。タイマークロックが 100% になるまで触れ続けます。その後ターゲットは逆時計回りの次の隅に移動します。



タッチスクリーン ソフトウェアのキャリブレーションの使用:

1. Windows Vista: スタート メニュー > すべてのプログラム > TouchKit > ユーティリティーの設定に進みます。
Windows 7: スタート メニュー > すべてのプログラム > eGalaxTouch > ユーティリティーの設定に進みます。
2. ツール タブを選択します。
3. 4 ポイント キャリブレーション をクリックしてタッチスクリーンのキャリブレーションを開始します。画面は白に変わり、左下の隅にプログレスバー付きのアクティブな赤のターゲットが表示されます。
4. 15 秒になるまでそのターゲットに触れたままにすると、それは黄色に変わります。タイマークロックが 100% になるまで触れ続けます。その後ターゲットは逆時計回りの次の隅に移動します。

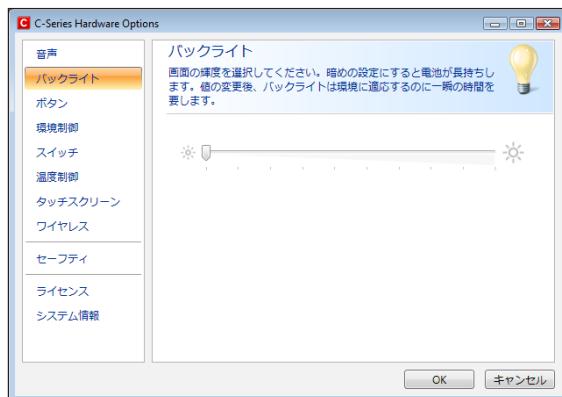


5.6 バックライトの調整

画面の輝度レベルは以下のように調整できます。

1. **C-Series Hardware Options > バックライト**を開きます。
2. スライダーを右に動かすと明るさが増し、左に動かすと減少します。バックライトの輝度調整には多少の時間を要します。

デバイスにはセンサーが付いており、これが周囲光に応じて、選択されたレベルに合うように自動的に画面の輝度を調節します。



① より暗めの設定にしておくとバッテリーが長持ちします。

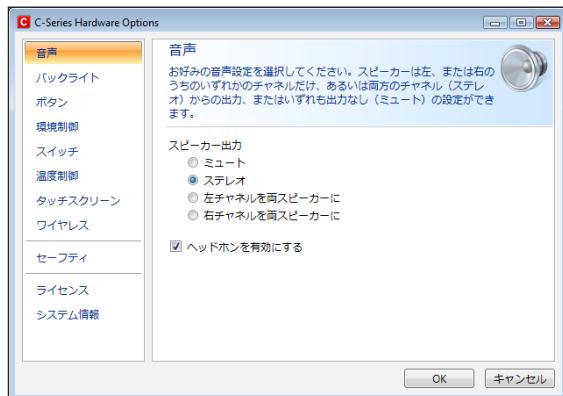
5.6.1 音声の調整

内蔵スピーカーは、Windows 7 コントロールパネル > ハードウェアとサウンド、および **C-Series Hardware Options** を使って設定できます。

Windows 7 コントロールパネルでの音声設定方法については、マイクロソフトの情報を参照してください。

C-Series Hardware Options での音声の設定:

1. **C-Series Hardware Options** > 音声を開く。
2. スピーカー出力のオプションの内の1つをクリックします。



左右の2つの音声チャネルでは、2つのレベルの音声出力ができます。たとえば、左のチャネルは聴覚スキャンの頭出しをユーザのヘッドホンに出力し、一方、右チャネルは選択された文字をデバイスのスピーカーに話し声で出力することができます。

左右のチャネルは、左右のスピーカーを意味するのではないことに留意してください。いずれのチャネルも音と音声を両方のスピーカーに出力できます。

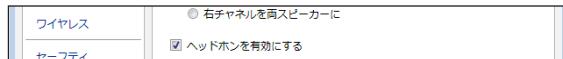
5.7 ヘッドホンの使用

ヘッドホンの使用を有効にするには：

1. **C-Series Hardware Options > 音声**を開きます。
2. **ヘッドホンを有効にする** チェックボックスを選択します。

ヘッドホンの使用を無効にするには：

1. **C-Series Hardware Options > 音声**を開きます。
2. **ヘッドホンを有効にする** チェックボックスをクリックしてチェックを外します。



5.8 Bluetooth® の使用 (オプション)

① RF フリーユニットには適用されません。

内蔵の Bluetooth® は、通常の Bluetooth® 規格に準拠するワイヤレス機器との通信を可能にします。

5.8.1 ライセンスの扱い

本デバイスでの Bluetooth® 通信には、ライセンスが必要です。ライセンスの表示や入力には、C-Series Hardware Options のライセンスのセクションに移動します。

5.8.2 Bluetooth® 通信を有効/無効にするには

C-Series Hardware Options のワイヤレスのセクションから、Bluetooth® 通信の有効/無効を切り替えることができます。



Bluetooth® 通信を有効にするには：

1. **ワイヤレスユニットを有効にする** チェックボックスを選択します。
2. **ブレートゥース** チェックボックスを選択します。

Bluetooth® 通信を無効にするには：

- ブルートゥース チェックボックスのチェックを外すか、またはすべてのワイヤレスユニットを無効にするには **ワイヤレスユニットを有効にする** チェックボックスのチェックを外します。

Bluetooth® 通信が有効なときは、ブルートゥース アイコンがデスクトップの通知領域に表示されます。



5.8.3 Bluetooth® 機器との接続

ブルートゥース通信が有効なときは（上記参照）、C-Series デバイスを他の Bluetooth® 機器と接続することができます。

通信可能な Bluetooth® デバイスを検索してそのデバイスに接続するには、Windows 7 では **ブルートゥースデバイス** を使用します。ブルートゥースデバイスにアクセスするには：

- 通知領域のブルートゥースのアイコン、 をダブルクリックします。

5.9 WLAN の使用（オプション）

① RF フリーユニットには適用されません。

内蔵の WLAN（ワイヤレスローカルエリアネットワーク）のサポートについて、C8 および CI2 については 802.11 b/g 標準、CI5 については 802.11 b/g/n 標準に準拠したワイヤレスネットワークへの接続ができます。

5.9.1 ライセンスの扱い

WLAN 通信の利用にはライセンスが必要です。ライセンスの表示や入力には、C-Series Hardware Options のライセンスのセクションに移動します。

5.9.2 WLAN 通信を有効/無効にする

C-Series Hardware Options の中のワイヤレスのセクションから、WLAN 通信の有効/無効を切り替えることができます。



WLAN 通信を有効にするには:

1. **ワイヤレスユニットを有効にする** チェックボックスを選択します。
2. **WLAN** チェックボックスを選択します。

WLAN 通信を無効にするには:

- **WLAN** チェックボックスからチェックをはずす、またはすべてのワイヤレスユニットを無効にするには **ワイヤレスユニットを有効にする** チェックボックスからチェックを外します。

5.9.3 WLAN への接続

WLAN 通信を有効にするには:

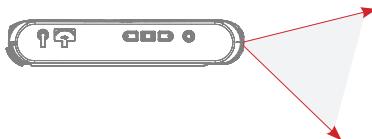
1. デスクトップの通知領域の WLAN アイコン、 をクリックします。
2. **ネットワークに接続**を選択します。
3. 接続するネットワークを選択します。

① C-Series デバイスと共に使用するワイヤレスネットワークを設定する際は、信頼性のあるパフォーマンスを実現するために、アンテナダイバーシティをサポートするワイヤレスアクセスポイントが推奨されます。一般的に、上記のようなアクセスポイントは、ルーター機器にアンテナが2つあるので見分けがつきます。

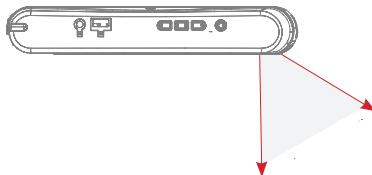
② アンチウイルスプログラムの利用を強くお勧めします。

5.10 カメラの使用

内蔵カメラを使うと、C-Series デバイスの前にあるアイテムのスナップ写真を撮ることができます。Tobii C8 のカメラはデバイスの上部にあります。



Tobii C12 および Tobii C15 のカメラはデバイスの背面にあります。

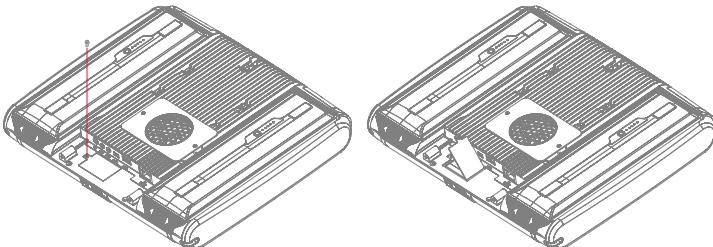


カメラ機能の利用については Tobii Communicator またはその他の通信ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

5.11 携帯電話の使用 (オプション)

① RF フリーユニットには適用されません。

内蔵の携帯電話通信機能の利用には、お客様の地域のネットワーク事業者より発行された有効な SIM カードが必要です。SIM カードは、C-Series デバイスの背面にある SIM カードカバーの下に取り付けます。



携帯電話の機能は以下のように利用することができます。

- テキストメッセージ (SMS) とマルチメディア メッセージ (MMS) の送受信
- 人工音声で電話をかける
- 人工音声で電話に応答する

5.11.1 ライセンスの扱い

携帯電話通信の利用にはライセンスが必要です。ライセンスの表示や入力には、C-Series Hardware Options のライセンスのセクションに移動します。

5.11.2 携帯電話を有効/無効にする

C-Series Hardware Options のワイヤレスのセクションから、携帯電話通信の有効/無効を切り替えることができます。



携帯電話通信を有効にするには:

- ワイヤレスユニットを有効にする** チェックボックスを選択します。
- 携帯電話** チェックボックスを選択します。

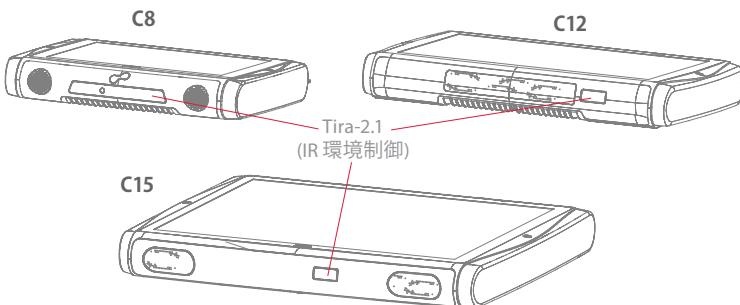
携帯電話通信を無効にするには:

- 携帯電話** チェックボックスからチェックを外す、またはすべてのワイヤレスユニットを無効にするには **ワイヤレスユニットを有効にする** チェックボックスからチェックを外します。

- C-Series デバイスで使用するには、SIM カードの暗証番号は無効になつていなければなりません。

5.12 環境制御の使用(オプション)

C-Series デバイスには環境制御ユニット Tira-2.1 が含まれています。Tira はプログラム可能な赤外線装置で、テレビや DVD のような赤外線リモコンを備える機器の操作に使用できます。接続、設定、および赤外線制御の方法に関しては、Tobii Communicator またはその他の通信ソフトウェアのマニュアルを参照してください。



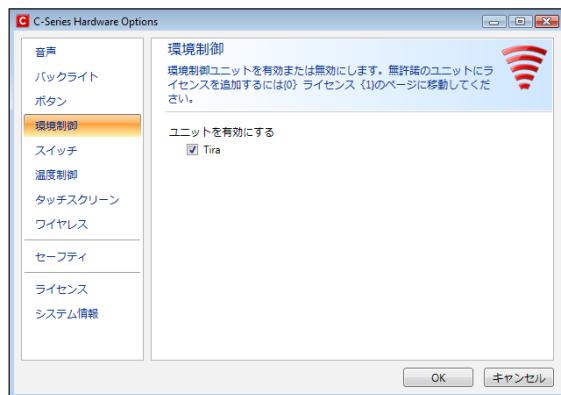
- i 制御しようとしているデバイスが応答しない場合は、C-Series デバイスをわずかに上方か下方に傾け、赤外線が送信される角度を変えてみてください。

5.12.1 ライセンスの扱い

Tira の利用にはライセンスが必要です。ライセンスの表示や入力には、C-Series Hardware Options のライセンスのセクションに移動します。

5.12.2 Tira の有効化/無効化

C-Series Hardware Options の環境制御のセクションから、Tira の有効/無効を切り替えることができます。



Tira を有効にする:

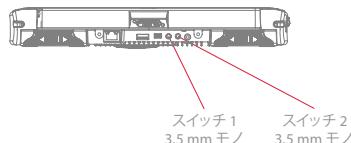
- Tira のチェックボックスを選択します。

Tira を無効にする:

- Tira のチェックボックスのチェックを解除します。

5.13 アクション用にショートカットを作成する

クリックアクセスボタンや接続されたスイッチをプログラムすることにより、タスクや呼び出されたアクション用のショートカットを作成できます。A、B、C のクリックアクセスボタンは C-Series デバイスの右側にあり、スイッチはスイッチコネクターで接続されています。



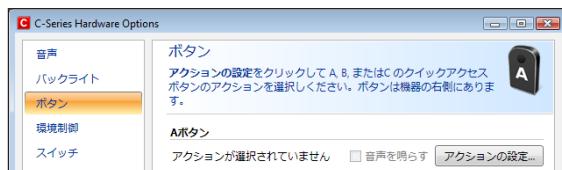
5.13.1 使用可能なアクション

以下は、設定可能な各アクションの簡単な説明です。

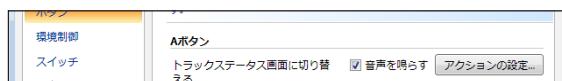
- 入力の送信 – ユーザーは別のプログラムに入力送信できます（キー入力、マウスクリックまたはテキスト）。
- プログラムのスタート – ユーザーはプログラムを起動できます。
- 音量 – ユーザーは音量の上げ下げ、またはミュートのオン/オフができます。
- バックライト – ユーザーは画面のバックライトを強めたり弱めたりすることができます。
- アイトラッキング（視線入力） – ユーザーは、トラックステータス ウィンドウの表示/非表示設定、アイトラッキングのオン/オフのキャリブレーションまたは一時停止ができます。
- ワイヤレス – ユーザーは無線通信のオン/オフ設定、または特定のワイヤレス通信を設定できます。
- タッチスクリーン – ユーザーはタッチスクリーンの電源のオン/オフができます。

クイックアクセス ボタンとスイッチで利用可能なアクションは同じです。アクション用にショートカットを作成するには：

1. **C-Series Hardware Options**を開きます。
2. カスタマイズするアイテムに応じて、**ボタン** または **スイッチ**を選択します。
3. **アクションの設定** をクリックするとダイアログボックスが表示され、ボタンに割り当てるアクションを選択できます。アクションの内の1つを選択すると、そのアクションのオプションが、選択されたアクションの下に表示されます。

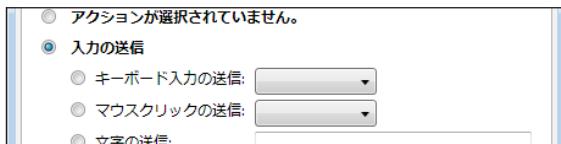


クイックアクセスボタンを押したときに音が鳴るようにするには、アクションの設定後に**音声の再生** チェックボックスを選択します。



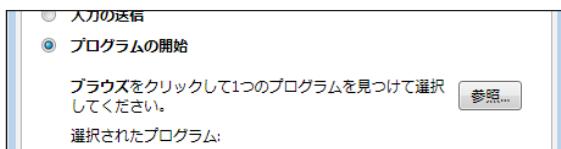
5.13.2 アクションの選択

入力の送信 – デバイスボタンまたはスイッチにより実行されるオプションをクリックして、キーボード入力、マウスクリック、または指定された文字列の、いずれかの送信を選択します。



- **キーボード入力の送信** – キーボード入力の送信リストの中から、別のプログラムに送信するキー入力を選択します。
- **マウスクリックの送信** – マウスクリックの送信リストの中から、希望のマウスクリックを選択します：左、中央、または右マウスクリック。
- **テキスト送信** – テキスト送信ボックスの中から、別のプログラムに送信する文字列を選択します。

プログラムの起動 – このオプションを初めて使用する場合は [参照](#) をクリックしてプログラムを選択してください。

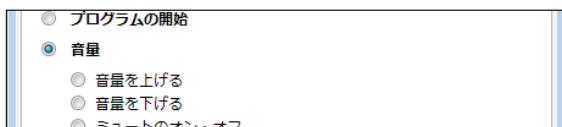


初回以降に **プログラムの起動** オプションをクリックすると、前回選択されたプログラムが表示されます。そこでリストの中からプログラムを選択するか、またはリスト外のプログラムを実行する場合は [参照](#) をクリックします。

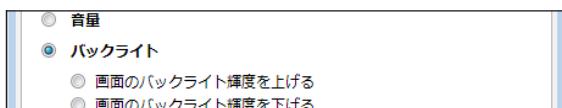


選択されたプログラムにプログラム引数を追加することができますが、通常は必要ありません。プログラムが引数を要求し、何を入力すべきか分からぬ場合は、そのソフトウェアの購入元に連絡してください。

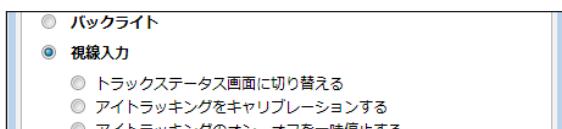
音量 – お好みのオプションをクリックして、音量の上げ下げ、またはミュートに設定することができます。



バックライト – お好みのオプションをクリックして、画面のバックライトの輝度を調整することができます。

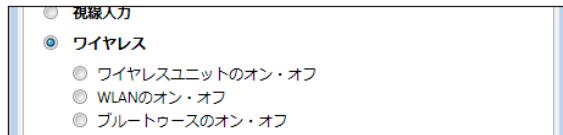


アイトラッキング (視線入力) – トラックステータス画面に切り替える、アイトラッキングをキャリブレーションする、またはアイトラッキングのオン/オフを切り替えます。

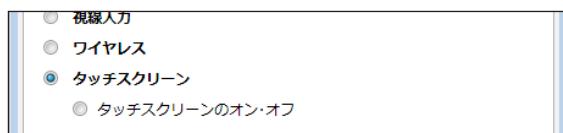


- ➊ このオプションを有効にするには Tobii Eye Control Suite と CEye がインストールされている必要があります。Tobii CEye モジュール の章を参照してください。

ワイヤレス – オプションをクリックして、全ての無線通信のオン/オフ、または各ワイヤレスユニットのシルエットの設定ができます。



タッチスクリーン — タッチスクリーンのオン/オフを選択します。

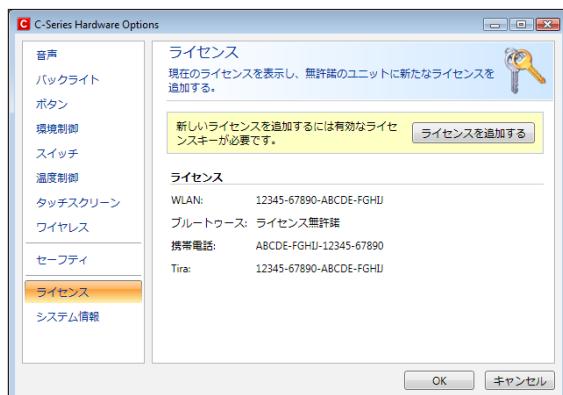


- ①スイッチのアクションが C-Series Hardware Options と Tobii Communicator の両方で、または別の通信ソフトウェアにおいてカスタマイズされている場合、全てのアクションは同時に実行されます。スイッチに指定されたアクションが、Tobii Communicator または別の通信ソフトウェアで同じスイッチに設定されたアクションと競合しないことを確認してください。

5.14 ライセンスの扱い

新しいライセンスを追加、または現存のライセンスを表示するには：

- **C-Series Hardware Options > ライセンスを開きます。**

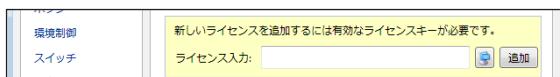


ライセンスを追加するには:

1. ライセンスの追加をクリックします。



2. ライセンスの入力ボックスで、新しいライセンスを入力してから追加をクリックします。



ライセンスの入力には、接続されたキーボード、またはこのボタン をクリックして画面上のキーボードを使用してください。

5.15 システム情報

デバイスのバージョンと型式番号を表示するには:

1. **C-Series Hardware Options**を開きます。
2. システム情報を選択します。本デバイスに問題が生じてカスタマーサポートに連絡する必要がある場合は、上記の情報をお手元にご用意ください。

全ての情報をコピーするをクリックすると、コピーした情報は文書(メモ帳やワードパッド)またはEメールに直接貼り付けることができます。

5.16 バックアップと復元の実行

5.16.1 ユーザープロファイルカード

C-Series デバイスには 1GB の SD カードが入っています。この SD カードは個人の設定やデータのバックアップ用です。C-Series が損傷した場合には、Tobii Technology はこの SD カードを取り除き、新しいデバイスにカードを挿入して、個人データや設定を簡単に取り出し、復元することができます。

5.16.2 ユーザーによるバックアップファイルの復元

バックアップファイルは Q:\Backup\<日付> ディレクトリに保存されています。ユーザー、TobiiTaskManager として実行されるバックアップのプロセスは週に一度 (毎週日曜、15時) 行われ、最新の3回のバックアップが保存されます。

- ① この時、お使いの C-series デバイスが起動し作動していなければ、バックアップは実行されません。

このプロセスにより全てのユーザーのファイルがバックアップされます。バックアップドライブに十分な空き容量がない場合、一部のファイルはバックアップされません。イメージファイルは優先度が最も低いファイルです (最後後にバックアップされます)。バックアップできる最大ファイルサイズは、1ファイル 100 MB です。これより大きいファイルは除外されます。

バックアップファイルを復元するには、Q:\Backup\<日付> ディレクトリ内のフォルダを C:\ ドライブにコピーします。

これらのバックアップファイルのコピーは、例えば外付けハードドライブや USB スティックなどの、任意の場所に保存できます。Q:\Backup\<日付> ディレクトリ内のフォルダを、任意の外部ディレクトリまたは選択したドライブにコピーします。

5.16.3 C-Series デバイスを工場出荷時の設定に戻す:

すべてのC-Series デバイスにはディスクに工場出荷時に設定されたイメージが含まれています。デバイスを元の状態にするには、OEM ファクトリーリストアーアプリケーションを使って行うことができます。

- ① これを行った場合、デバイスがお手元に届いた後にインストールされた個人データ、またはソフトウェアは削除されますのでご注意ください。

デバイスは Tobii から発送された時点のものとまったく同じイメージにリセットされます。

お使いのC-Series デバイスを工場出荷時の設定に戻すには、次の手順に従ってください:

1. ドキュメントやTobii Communicator 設定といった個人データをバックアップします。
2. デバイスを終了します。
3. キーボードを接続します。
4. デバイスを再起動します。
5. スタートアップ時にF8を押し、そのままにします。
6. 「コンピューターを修復する」を選択します。
7. 希望するキーボードレイアウト(言語)を選択します。
8. 「Tobii User」を選択し、パスワード「Tobii」(大文字と小文字を区別)を入力します。
9. 「OEM ファクトリーリストアーアプリケーション」を選択します。
10. 「復元」を選択します。
11. 同意事項を受け容れ、「はい」を選択して復元することを確認します。

工場出荷時の設定に戻すプロセスが開始されます。これには約30分～40分かかります。プロセスが終了したら、デバイスはオリジナルのイメージにリセットされます。デバイス注文後に追加のライセンスを注文した場合、これらは再度入力する必要があります。デバイスと一緒にもともと注文されたライセンスは、自動的に有効になります。また、CEyeモジュールのないデバイスを注文した場合で、CEyeを使ってデバイスを使用しようとする場合は、Tobii Eye Control Suiteを再インストールする必要があります。

- ① プロセスを開始する前に、パワーサプライに接続してください。工場出荷時の設定に戻している間にバッテリーが切れる可能性があるため、バッテリーを使ってデバイスを作動させないでください。そのようなことが起こった場合は、修理のためにTobiiにユニットを送付しなければならないことがあります。

6 Tobii CEye モジュールと Eye Control

Tobii CEye モジュールは、Tobii CI2 または CI5 (C8 ではご利用いただけません) にぴったりと収まるように設計された視線制御ユニットで、メガネ、コンタクトレンズ、目の色や環境照明に左右されず、精密に動作します。CEye モジュールによって、ユーザーはコンピューターを目でコントロールできます。画面を見ることでマウスポインターをコントロールし、まばたき、保持・停留 (Dwell—画面を一定時間見つめ続けること)、またはスイッチを用いてクリックします。

6.1 Tobii CEye モジュールのインストール

Tobii CI2 または CI5 で視線制御を有効にするには、まず Tobii Eye Control Suite をインストールし、その後で Tobii CEye モジュールをデバイスに接続する必要があります。以下の説明を参照してください。

⚠️ 接続したCEyeにテーブルスタンド（または通常の装着ブラケットスタンド）は使用しないで下さい。

6.1.1 必要なソフトウェア

CEye モジュールに必要なソフトウェアは Tobii Eye Control Suite です。Tobii Eye Control Suite には次の2つの構成要素が含まれています。インターラクション サーバーアプリケーションとシステムトレイ アプリケーション、**Tobii Eye Control Options**。

インターラクションサーバーはバックグラウンドで実行され、ユーザーインターフェースを持ちません。その代わりに、ユーザーインターフェースはトレイアプリケーション、**Tobii Eye Control Options**、または Tobii Communicator やその他の通信ソフトウェアにより提供されます。インターラクションサーバーはまた ウィンドウズ制御 アプリケーションを備え、これには **Tobii Eye Control Options** からアクセスできます。

- ① 最新の必要なソフトウェアは、CEye モジュールに同梱の USB スティックに入っています。

6.1.2 視線制御ソフトウェアの USB スティックからのインストール

最新のソフトウェアを USB スティックからインストールするには、C-Series デバイスの電源が入っていることを確認して、以下の手順に従ってください。

- I. C-Series の2つの USB ポート (USB のアイコン、 が付いています) の内の1つのポートに、同梱の USB スティックを差し込みます。USB の製造業者の名前とドライブ、KINGSTON (D:) のラベルが付いた **自動再生** ウィンドウが自動的に開きます。
2. **フォルダを開いてファイルを表示** フォルダをダブルクリックします。
3. **T -スタートアップ** アイコンをダブルクリックして、**Tobii Eye Control Suite** のインストールプロセスを開始します。

① T -スタートアップ アイコンをダブルクリックした後、**Tobii Eye Control Suite** ウィンドウが開くまで最大1分ほどかかることがありますので注意してください。その間、表面上は何も起きていないように見えますが、自動的にドライバがインストールされています。

4. **Tobii Eye Control Suite** ウィンドウが開きます。インストール情報を見て、説明に従ってください (次へ をクリックなど)。インストールが完了したら、閉じる をクリックしてください。
5. **KINGSTON (D:)** ドライブのウィンドウを閉じます。
6. **USB スティック**を取り出します。

これで必要なソフトウェアは、お使いの C-Series デバイスにインストールされました。CEye モジュールが物理的に接続された後にソフトウェアを有効にするには：

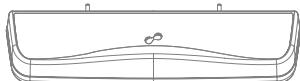
- Tobii Communicator またはその他の通信ソフトウェアを開いて、それぞれのマニュアルの、視線制御の有効化とキャリブレーションに関する説明に従ってください。

Windows 環境で視線制御を有効化するには、(Windows 制御)、以下に沿って **Tobii Eye Control Options** を起動してください。

- スタート > 全てのプログラム > Tobii > Tobii Eye Control Suite > Tobii Eye Control Options

詳細はユーザーズマニュアルの本章の **Tobii Eye Control Options へのアクセス** を参照してください。

6.1.3 CEye モジュールを Tobii C12 または C15 に装着する

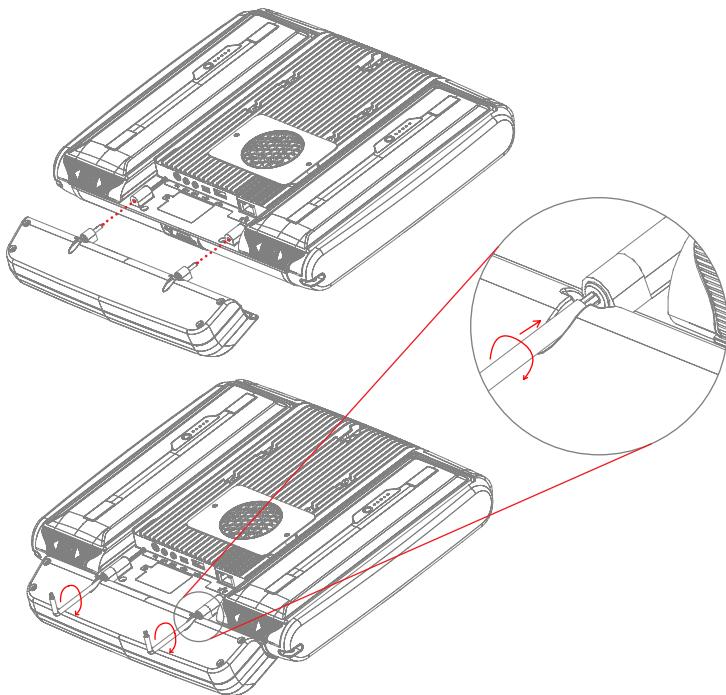


- ① Tobii CEye をC12 または C15 に装着するときは、お互いに接触する部分が汚れていないことを確認してください。

以下の手順で CEye を Tobii C12 または C15 に装着してください。

7. Tobii C12/C15 の電源が入っていないことを確認します。
8. 電源アダプタとバッテリーを外します。
9. Tobii C12/C15 の画面が下になるように平らな面に置いてください。
10. 付随品の Torx T0 ドライバーとねじを使って CEye を Tobii C12/C15 に装着してください。

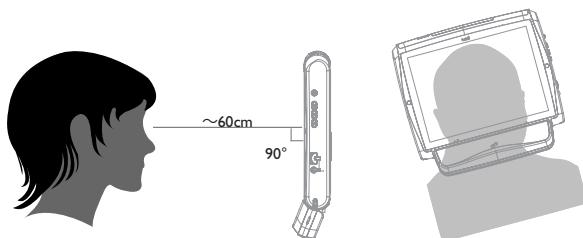
⚠️ ねじは締め過ぎず、抵抗を感じる程度に締めてください。ねじを締めすぎると破損する可能性が高まり、機能が向上することはありません。まず、1 本のねじを軽く締めてから、2本目を軽く締めます。次に、1本目のねじをきつく締めてから、2本目をきつく締めます。



6.2 Tobii CEye モジュールの使用

6.2.1 位置調整

CEye が取り付けられた Tobii CI2/CI5 は、ユーザーの目と平行に約 60 cm の距離にあるときに、最適に動作するように設計されています。つまり、横に身体を曲げたり、横になつたりしているユーザーには、CI2/CEye や CI5/CEye も傾けて、最適な距離でユーザーの目を画面に平行に保つ必要があります。

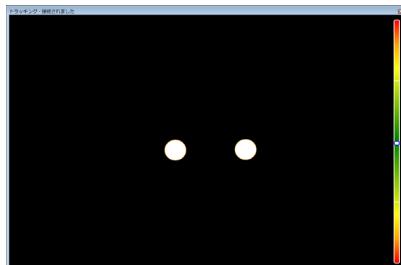


- ① ユーザーの快適性を考慮して、ユーザーに対する本ユニットの最適な位置と距離を決めてください。太陽光が画面またはユーザーの目に直接照射していない方が、ユーザーの快適さと視線入力の性能が増すことにも留意してください。

6.2.2 トラックステータス・ビューアー

CI2/CEye または CI5/CEye での視線入力用の最適の高さ、水平方向の位置合わせには、トラックステータス・ビューアーを使用します（トラックステータス・ビューアーの開き方の詳細に関しては [Tobii C-Eye モジュールの使用 > トラックステータスの表示](#) を参照してください）。

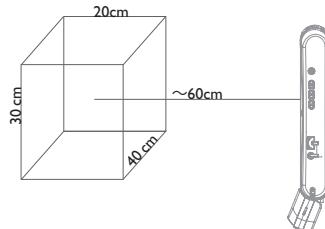
- ユーザーの目に対応する2つのマルは、理想的にはトラックステータス・ビューアーの中心にあるようにしてください。
- トラッキステータス・ビューアーの右側にある距離計を使って、CI2/CEye または CI5/CEye からのユーザへの最適な距離を確定してください。
- CI2/CEye または CI5/CEye とユーザーとの距離が最適になると、距離計の白いバーが、緑の範囲の中央付近に移動します。



- ① CEye のキャリブレーションに関する情報については、[Tobii C-Eye モジュールの使用 > キャリブレーション](#) をご覧ください。キャリブレーションを行う際は、上記に関連して照明条件も確認してください。

6.2.3 トラックボックス

Tobii CEye は広範な頭部の動きにも対応します。CI2/CEye または CI5/CEye が一度正しくキャリブレーションされ、ユーザーの前に配置された後は、更なる調整は不要です。



Tobii CEye は業界トップサイズのトラックボックスを生産しており、およその寸法は $40\text{ cm} \times 30\text{ cm} \times 20\text{ cm}$ (横幅 \times 高さ \times 奥行き) です。トラックボックスは CI2 の画面の中央上寄りの位置から約 60 cm 離れたところにある、仮想上の箱です。

視線入力として機能的にトラックされるためには、ユーザーは少なくとも片目がトラックボックス内に常にいるようにする必要があります。

6.2.4 Tobii Eye Control Options へのアクセス

Tobii Eye Control Options は、トラックステータス、キャリブレーション、および一般的な設定などのコントロール機能に、すばやく簡単にアクセスできるようにしたプログラムです。

Tobii Eye Control Options は、以下の内の 1 つの方法で起動します。

- スタート メニュー > 全てのプログラム > Tobii > **Tobii Eye Control Suite** > **Tobii Eye Control Options** に進みます。
- 通知領域の **Tobii Eye Control Options** アイコン またはデスクトップのショートカット をダブルクリックします (ショートカットが作成されている場合)。
- 通知領域の **Tobii Eye Control Options** アイコン を右クリックしてから (タッチスクリーンでの右クリックはアイコンを押し続ける動作になります)、**設定** をクリックします。

Tobii Eye Control Options のリストの左側から、変更するオプションを選択します。リストの右側に、選択可能なオプションが表示されます。

OK をクリックして変更を保存します。保存をすると、**Tobii Eye Control Options** も閉じます。

変更をキャンセルするには **キャンセル** をクリックします。キャンセルをすると、**Tobii Eye Control Options** も閉じます。

適用する をクリックして変更を保存します。**Tobii Eye Control Options** は開いたままになります。



6.2.5 新規プロファイルの作成

別々のプロファイルを利用してことで、複数の人のキャリブレーションとフィードバックのプリファレンスをデバイスに保存できます。または、1人でも時々メガネをかけたり、複数の方法でデバイスにアクセスする場合は、自分用に複数のプロファイルを作成すると良いでしょう。

新規プロファイルを作成するには：

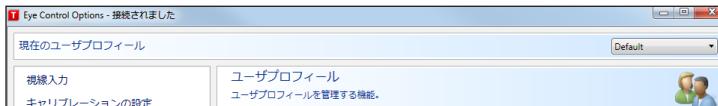
1. **Tobii Eye Control Options**を開き、**ユーザープロファイル**をクリックします。
2. **プロファイル名** フィールドに新しい名前を入力します。
3. **プロファイルに基く** ドロップダウン リストの中から既存のプロファイルを選択します。新規プロファイルは、選択されたプロファイルの全ての設定を受け継ぎます。以前にプロファイルが1つも作成されていない場合は、デフォルト・プロファイルのみを選択できます。
4. **作成** をクリックして新規プロファイルを保存します。新規プロファイルは、**作成** をクリックすると直ちに保存されます。



6.2.6 現在のユーザープロファイルの選択

現在のユーザープロファイルを選択するには：

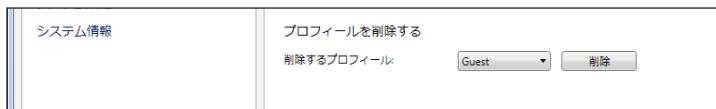
1. **Tobii Eye Control Options**を開きます。
2. **現在のユーザープロファイル** ドロップダウンリストからユーザープロファイルを選択します。
3. **適用する** を選択します。



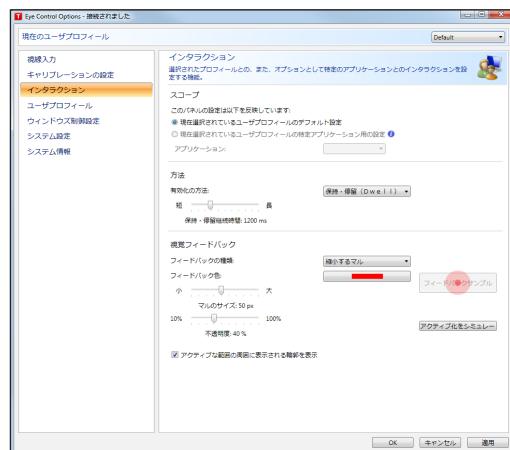
6.2.7 プロファイルの削除

プロファイルを削除するには:

1. **Tobii Eye Control Options > ユーザープロファイル**を開きます。
2. **削除するプロファイル** ドロップダウンリストからプロファイルを選択します。
3. **削除** をクリックして、選択したプロファイルを削除します。削除をクリックすると、プロファイルは直ちに削除されます。デフォルト・プロファイルは削除できないことに留意してください。



6.2.8 インタラクションのカスタマイズ



CEye モジュールのインタラクションを適応させるには以下のステップに従います。

- I. **Tobii Eye Control Options > インタラクション**を開きます。

スコープ

2. どのようにインタラクション設定を反映するかを選択します。
 - 特定のアプリケーションではなく、ユーザー・プロファイル全体に新しい設定を適用する場合は、**現在選択されたユーザー・プロファイルのデフォルト設定** をクリックします。
 - ユーザー・プロファイルの特定のアプリケーションに新しい設定を適用する場合は、**現在選択されているユーザー・プロファイルのアプリケーション固有の設定** をクリックします。次に、**アプリケーション** ドロップダウンリストからアプリケーションを選択します。

方法

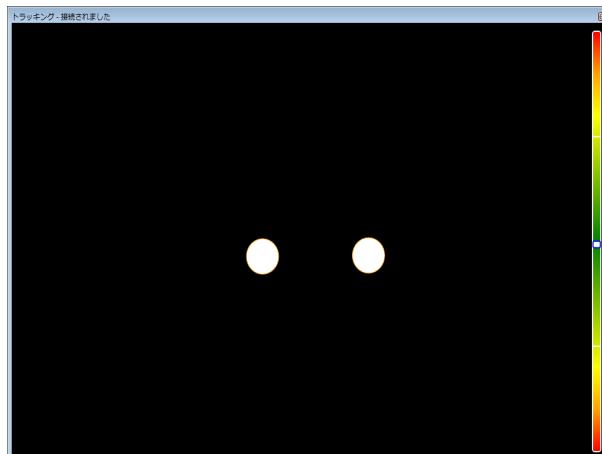
3. **アクティブ化の方法** ドロップダウンリストからアクティブ化の方法を選択します。それぞれアクティブ化時間が異なる、3つの方法があります。
 - 保持・停留。保持・停留の時間を **保持・停留時間** のスライダーを動かすことにより調整します。
 - スイッチ。それぞれのスライダーを動かすことにより、クリック時間とクリック間の最短時間を調整します。
 - まばたき。それぞれのスライダーを動かすことにより、瞬きの最短と最長の時間を調整します。

視覚フィードバック

4. **保持・停留フィードバックの種類** ドロップダウンリストから、視覚フィードバックのマークを選択します。
5. フィードバックのマークの色を **フィードバック色** ドロップダウンリストから選択します。
6. マルのサイズとフィードバックマークの透明度を、それぞれのスライダーを動かして特定します。
7. **アクティブな範囲の周囲に表示される輪郭を表示** チェックボックスを選択すると、視線制御選択のすべてのインスタンス内のアクティブな領域の周囲に点線が表示されます。
8. アクティブ化の方法がどのように画面に現れるかを確認する場合は、**アクティブ化をシミュレートする** を選択します。**アクティブ化をシミュレートする** ボタンの上に例が表示されます。

6.2.9 トラックステータスの表示

トラックステータス・ビューアーは、視線入力がユーザーの目を認識できており、ユーザーがデバイスの前の正しい位置にいることを確認できるウィンドウ、あるいはダイアログです。



以下の内の 1 つの方法でトラックステータス・ビューアを開きます。

- **Tobii Eye Control Options > 視線入力** を開き、**トラックステータス** ボタンを選択します。
- 通知領域内の **Tobii Eye Control Options** アイコン を右クリック (タッチスクリーンでの右クリックは、アイコン上を指で押さえ る動作になります)、**トラックステータスの表示** を選択します。



6.3 キャリブレーション

6.3.1 キャリブレーションの開始

以下の内の1つの方法でキャリブレーションを起動します。

- **Tobii Eye Control Options > 視線入力**を開いてから、**キャリブレーションの開始...**ボタンをクリックします。
- 通知領域内の **Tobii Eye Control Options** アイコン  を右クリックし(タッチスクリーンでの右クリックは、アイコン上を指で押さえ動作になります)、**キャリブレーションの開始**を選択します。



6.3.2 キャリブレーションの中断

以下の内の1つの方法でキャリブレーションを中断します。

- **Esc**を押す。
- 画面上をマウスを使って左クリックします。
- スクリーンに触れます。

6.3.3 アクティブな目のカスタマイズ

以下のように、アイトラッカーによってトラックさせる目を選択します:

1. **Tobii Eye Control Options > 視線入力**を開きます。
2. **アクティブな目** ドロップダウンリストから、アクティブな目を選択します。
注記 この操作はキャリブレーションの終了後に行ってください。



6.3.4 キャリブレーション・ポイントの改良



キャリブレーション後、1つまたは複数のポイントを改良する必要がある場合があります。

カラースキームを使用すると、キャリブレーションの質を理解するのに役立ちます。

- キャリブレーション結果の背景色が明るい赤の場合、キャリブレーションの質は比較的低いことを意味します。1つまたは複数のポイントを個々に、または全てをキャリブレーションして、より良い視線入力結果を得ることができます。
- キャリブレーション結果の背景色が明るい黄色の場合、キャリブレーションの質は中程度であることを意味します。1つまたは複数のポイントを個々に高めることで、より良い視線入力の結果を得られる場合があります。
- キャリブレーション結果の背景色が緑の場合、キャリブレーションの質は高いことを意味します。

- ① 得られたキャリブレーションの質に関わらず、**OK** または **適用する** を選択して視線制御の使用を開始できることに留意してください。キャリブレーション結果の質に影響を受けるのは、視線制御の精度や機能です。できる限り最善のキャリブレーション結果を得るようにしてください。

キャリブレーションポイント内の線がキャリブレーションポイントの円の中心にあるマルに近いほど、そのポイント ◎ のキャリブレーションは優れています。改良を行うポイントを選択し、これらのポイントのみを再度キャリブレーションすることができます。1つまたは複数のキャリブレーションポイントを改良するには：

1. **Tobii Eye Control Options > 視線入力**を開きます。
2. **キャリブレーションの結果**の下で、改良するポイントを指定します。
3. **ポイントの改良**をクリックすると、選択されたポイントのキャリブレーションが始まります。

6.3.5 キャリブレーション・ポイントの削除

キャリブレーション後も相変わらず質の悪いキャリブレーション・ポイントがある場合(緑のラインがキャリブレーションポイントの円の周囲全体と外に散乱している)、そのキャリブレーションからそのポイントを完全に削除することができます。これによって、その他のポイントのキャリブレーションが改良されることがあります。ポイントを削除すると、画面のその領域はキャリブレーションが解除され、アイトラッキングがそこでは適切に動作しないことに留意してください。

1つまたは複数のキャリブレーション・ポイントを削除するには：

1. **Tobii Eye Control Options > 視線入力**を開きます。
2. **キャリブレーションの結果**の下で、削除するポイントを指定します。
3. **ポイントの削除**をクリックします。

6.3.6 キャリブレーションのカスタマイズ



キャリブレーションをカスタマイズするには、以下のステップに従います。

1. **Tobii Eye Control Options > キャリブレーションの設定を開きます。**

全般

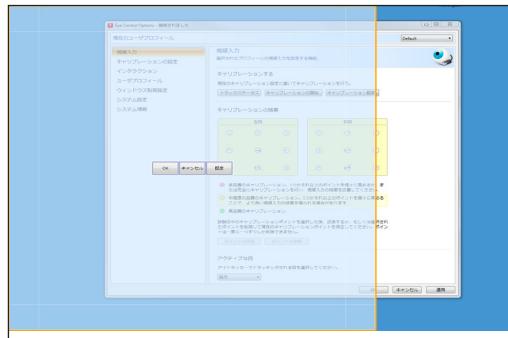
2. 背景色のボタンをクリックしてキャリブレーションの背景を選択し、希望の色を選択します。
3. キャリブレーション用にいるポイント数(2、5、または9)を **キャリブレーションポイント** ドロップダウンリストから指定します。ポイント数が高いほど、キャリブレーションの精度も高くなります。
4. サウンド・フィードバックを希望する場合、または **サウンドロフィードバック** ドロップダウンリストにはないものを希望する場合に選択します。

刺激

5. 刺激のタイプ ドロップダウンリストから、刺激のタイプを選択します。それぞれカスタマイズ・オプションが異なる、3つの方法があります。
 - マル：
 - マルの色を **刺激の色** ボタンをクリックして選択します。
 - マルのサイズを **刺激のサイズ** ドロップダウンリストから選択します。
 - マルのスピードを **刺激のスピード** ドロップダウンリストから選択します。
 - イメージ：
 - 閲覧 をクリックして、一次刺激のイメージを選択します。
 - 閲覧 をクリックして、二次刺激のイメージを選択します。
 - イメージのサイズを **刺激のサイズ** ドロップダウンリストから選択します。
 - イメージのスピードを **刺激のスピード** ドロップダウンリストから選択します。
 - ビデオ：
 - 閲覧 をクリックして、一次刺激のビデオを選択します。
 - 閲覧をクリックして、二次刺激のビデオを選択します。
 - ビデオのサイズを **刺激のサイズ** ドロップダウンリストから選択します。
 - ビデオのスピードを **刺激のスピード** ドロップダウンリストから選択します。
6. 刺激の動画化を行う場合は **刺激の動画化** チェックボックスをチェックします。
7. キャリブレーションを制御する場合、例えばキャリブレーション刺激が動くタイミングをキーボードで決定する場合、**キーボードのステップスルー** チェックボックスをチェックします。

- **キーボードのステップスルー** では、ステップ(キャリブレーションの刺激を移動)には‘S’キーを、キャリブレーションの中断には‘Esc’キーまたはマウスの左ボタンを押すか、またはタッチスクリーンに触れてください。イメージまたはビデオによるキャリブレーションを使う場合は、‘T’キーを使って一次/二次刺激イメージを切り替えます。

6.3.7 キャリブレーション範囲のカスタマイズ



ユーザーがアイコントロールを使用してスクリーンの一部エリアにアクセスできないことが判明した場合に、キャリブレーション範囲のカスタマイズは役に立つことがあります。キャリブレーション範囲のサイズを調節し、ユーザーがアクセスできない範囲を除外することで、全体のキャリブレーションを改善することができます。

キャリブレーション範囲をカスタマイズするには、以下のステップに従います。

1. **Tobii Eye Control Options > 視線入力**を開きます。
2. **キャリブレーション範囲...**ボタンをクリックします。
3. デスクトップに青色の半透明の範囲が表示されます。青色の範囲を動かして、お好みのキャリブレーション範囲に合うようにサイズ変更ができます。

6.4 ウィンドウズ制御

ウィンドウズ制御は、Eye ControlとGaze Interactionを使って、デスクトップとWindowsコンピューターのすべてのアプリケーションにアクセスすることを可能にします。

6.4.1 ウィンドウズ制御の起動と無効化

ウィンドウズ制御を起動するには、通知領域にある **Tobii Eye Control Options** アイコン、 を右クリックし、**ウィンドウズ制御を有効にする** を選択します。



または

デスクトップから **Tobii ウィンドウズ制御** ショートカットアイコン  を選択します。これによってウィンドウズ制御が直ちに起動します。

ウィンドウズ制御を無効にするには、通知領域の **Tobii Eye Control Options** アイコン  を右クリックし、**ウィンドウズ制御を無効にする** を選択します。

ウィンドウズ制御メニューは、Tobii Communicator、または Tobii Eye Control SDK が供給する機能を実装したその他の通信ソフトウェアからも起動できます。

自動起動

- **Tobii Eye Control Options > ウィンドウズ制御の設定**を開きます。
- **Tobii Eye Control Suite** の起動時にウィンドウズ制御を自動起動させる場合は、**ウィンドウズ制御を自動スタートする** チェックボックスをチェックします。

6.4.2 ウィンドウズ制御の種類

ウィンドウズ制御は2つの異なるモードで使用することができます。

- 視線の選択
- Mouse Emulation

使用するウィンドウズ制御の種類を選択し、ウィンドウズ制御をカスタマイズするには、以下のステップに従います。

- **Tobii Eye Control Options > ウィンドウズ制御の設定を開きます。**
- **ウィンドウズ制御の種類の下で、ウィンドウズ制御の種類を選択します。**

6.4.3 Gaze Selection

Windows Control の Gaze Selection モードを使うと、ユーザーは不要なクリックをすることなく、2ステップの選択方法で、標準 Windows デスクトップ・オペレーティング・システムを制御することができます。また、視線でマウスカーソルを追うことを防ぎます (Gaze Selectionでは、マウスカーソルがふらふらと動くことはありません)。

1. まず、ドックされたタスクバーを見て、そこから希望のタスクを選択します。
2. 次に、タスクを実行したいと思うスクリーンの部分（またはスクリーン上のアイコン）を見ます。自動ズーム機能が有効化され、アイコンの選択またはタスクの実行で終了します。

- ① Gaze Selection の設定は、Gaze Selection ウィンドウズ制御が作動している時にはスクリーンにドックされるGaze Selection タスクバー内にあります。歯車設定アイコンを見つめて  選択すると、設定ダイアログが開きます。

6.4.3.1 Gaze Selection タスクバー

Gaze Selection タスクバー上部に、トラックステータス・ビューアーがあります。これは、アイトラッカーがユーザーの目を認識できており、ユーザーがデバイスの前の正しい位置にいることを確認できるようにするものです。

Gaze Selection タスクバーのタスクボタンは、以下に示される通り、3つの異なるモードになります。

- **標準(未選択)** - Gaze Selection のためのボタンが選択されていません。
- **選択済み** - マークが付いたタスクボタンが選択され、ユーザーが画面上の希望の場所もしくはアイコンを見つめ自動的にズームされた

後、タスクが実行されます。選択方法がGaze Selection 設定ダイアログ内のスイッチに設定されている場合、選択されたタスクボタンはタスクの実行後も有効のままになります。

- **高精度**-選択済みと同じですが、より高精度なものになります。**高精度**とは、タスクが最終的に実行される前にズームが更に拡大され、希望する画面の部分がより大きくなり、その中をより選択しやすくなることです。下のイメージのように、色が変化するまでタスクボタンの上に視線を置くと、このモードがオンになります。



6.4.3.2 タスクボタン

タスクボタン	アクション	説明
	カーソルの配置	希望のポイント/位置にマウスカーソルを置くタスクです。マウスオーバー機能などに使用します（クリックではありません）。
	視線のスクロール	<p>スクロール可能なウィンドウで行った場合、視線でコントロールしてページをスクロールすることができるタスクです。</p> <ul style="list-style-type: none"> タスクを選択します。 スクロールできる部分を見て、視線を止めます。すると視線のスクロールアイコンが視線が置かれた場所に現れます。 上にスクロールする場合は、アイコンの上を見ます。 下にスクロールする場合は、アイコンの下を見ます。 スクロールを止めるには、Gaze Selectionタスクバー（または画面の外）に視線を戻します。
	左クリック	左シングルクリックを行うタスクです。
	ダブルクリック	左ダブルクリックを行うタスクです。

タスクボタン	アクション	説明
	右クリック	右シングルクリックを行うタスクです。
	視線のドラッグ/ドロップ	<p>2つの「クリック」を行うタスクです。最初のクリックは、ドラッグのスタート位置を表し、2つ目のクリックはドロップ位置を表します（オブジェクトの移動または範囲の選択）。</p> <ul style="list-style-type: none"> タスクを選択します。 移動させたいオブジェクト、または選択範囲のスタートポイントを見ます。 スイッチまたは注視で Gaze Selection（最初の「クリック」）を実行します。 直ちに、オブジェクトのドロップ位置、または選択範囲の終了ポイントを見ます。 スイッチまたは注視で 2回目の「クリック」を実行します。
	キーボードの注視	Gaze typing 用のキーボードを有効にするためのスクリーン上の Gaze を開くタスク
	設定	設定ダイアログを開くタスク

6.4.3.3 選択方法

選択したタスクを実行するには2つの方法があります。選択方法は、Gaze Selection 設定ダイアログ内から設定します。

選択を行う前に、ユーザーは常にタスクバーから実行するタスクを選択する必要があります。「選択済み」または「高精度」とハイライトされるまで、選択したタスクを見つめます。

- **注視**-選択したタスクを実行するには、タスクを実行したいと思うスクリーンの部分（またはスクリーン上のアイコン）を見つめます。自動ズーム機能が有効化され、アイコンの選択またはタスクの実行で終了します。
- **スイッチ**-2つの異なる実行モードがあります。
 - **スイッチのシングルアクティベーション**-ズーム機能は注視方法と同じ方法で、Gaze Selection 設定ダイアログ内の設定に従い実行されます。
 - **スイッチの有効化とホールド**-ズーム機能はズームをしき、スイッチを離したり無効にしたときのみズーム機能が終了します。

注視方法を使用する場合、ユーザーはタスクの実行後に常にタスクバーに視線を戻し、新しいタスクを選ばなければなりません。これは、新しいタスクが今使用したばかりのタスクと同じ場合にもあてはまります。

スイッチ方法を使用する場合、タスクボタンは一度選択すると「ステイッキー」になります。つまり、選択したタスクを繰り返し実行する場合に、タスクバーに視線を戻す必要がありません。タスクを変更したい場合のみ、視線を戻します。

6.4.3.4 Gaze Keyboard

タスクバーの Gaze Keyboard ボタンを選択すると、スクリーン上のキーボードとして Gaze Keyboard が起動します。Gaze Keyboard は、Gaze Keyboard を起動する前に、ユーザーが最後にマウスをクリックした（または最後のカーソルの位置）により、スクリーン上部またはボタンの位置に表示されます。

Gaze Keyboard は、回転ループ内で4つのキーボードページで構成されています。Gaze Keyboard の全ページで、左右の端にある次ページボタンを選択すると、ユーザーは別のキーボードページに簡単に切り替えることができます。

ユーザーが見ているキーボード上のキーは、キーの文字/機能のそばにあるライトフレームが示しています。

ユーザーがタイピングすると、最新の5~10文字が、ブルーで強調表示されます。この機能により、ユーザーはスペルミスを簡単に発見し、実際に入力する場所で文字を確認する必要がなくなるため、タイピングスピードが向上します。



以下の4つのキーボードページがあります：

↑	Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P	⌫
Ctrl	A	S	D	F	G	H	J	K	L	!	↔
Alt	Z	X	C	V	B	N	M	.	,	?	↶

デフォルトスタートアップページ

↑	/	*	7	8	9	+	()	*	#	⌫
Ctrl	\	.	4	5	6	-	<	>	&	'	↔
Alt	%	0	1	2	3	=	;	:	-	@	↶

右側の最初のページ

↑	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	F10	⌫
Ctrl	Esc	→I	Home	Ins	Web	Search	↑	Prt Scr	Pg Up	F11	↔
Alt	⌘	Alt Gr	End	Del	Mail	←	↓	→	Pg Dn	F12	↶

3番目のページ

↑	\$	€	£	¥	¤		°	§	í		
Ctrl	:)	:)	:)	:)	:)	:D	:/	:S	:P	<3	.C
Alt	[]	{	}	^	~	~	~	~	~	~

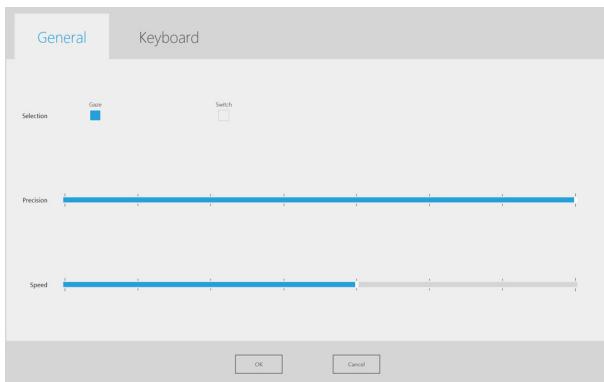
左側の最初のページ(4番目のページ)

- ① Shift、Ctrl、Alt、Win、Alt Gr キーは、一度選択すると 選択が継続されます。これは、ユーザーがキーボードから新しいキーを選択するまで、そのキーが継続して選択されることになります。次に選択したキーが別の継続選択キーであった場合、キーの選択は継続されます。
- ① 文字にアクセントを付けて表記するには：
 1. アクセントを選択します。
 2. 文字を選択します。
 3. 選択されたアクセントで文字が表示されます。
- ① キーボードの数字キーは、数字パッドとして位置しており、Alt キーと組み合わせて使用すると、Ascii 文字を表示させることができます。
 1. Alt キーを選択
 2. Ascii 文字用の数字の組み合わせを選択
 3. Alt キーを選択
 4. Ascii 文字が表示されます。
- ① 1回で1文字ではなく、1回に全部の文字を削除するには：
 1. Ctrl キーを選択
 2. Backspace キーを選択

6.4.3.5 Gaze Selection 設定

Gaze Selection 設定ダイアログは、アイコントロール可能で、ユーザーはキーボードおよび／またはマウスを使わずにすべての変更を行うことができます。

一般設定タブ:



選択

- 注視**- 注視を選択し、視線の位置で希望タスクの実行で終了するズーム機能をオンにします。
- スイッチ**- スイッチを選択し、スイッチを使って希望タスクの実行で終了するズーム機能をオンにします。

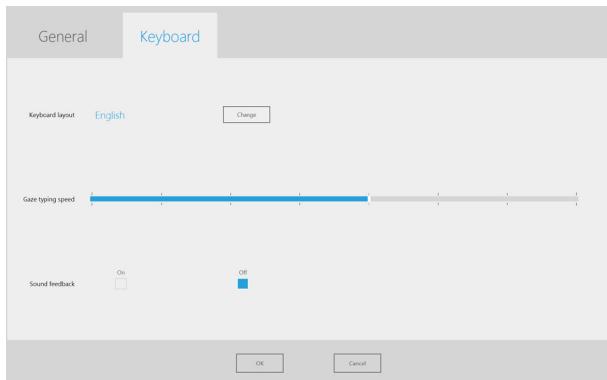
精度

ズームの精度は8つのレベルに設定することができます。設定を変更するには希望の位置を見つめてください。精度を変更すると、タスクの実行前のズームの度合いが調整されます。スケールの右に行けばいくほど、ズームが拡大されます。

速度

ズームスピードは8つのレベルに設定することができます。設定を変更するには希望の位置を見つめてください。スピードを変更すると、タスクの実行前のズームスピードに影響があります。スケールの右に行けばいくほど、ズームのスピードが速くなります。

キーボード設定タブ:



キーボードのレイアウト

選択した言語のキーボードレイアウトが表示されます。別の言語のキーボードレイアウトに変更するには、変更ボタンを選択します。さまざま言語のキーボードレイアウトを利用することができます。

Gaze typing スピード

Gaze typing のスピードは、8つのレベルに設定することができます。設定を変更するには、希望の位置を見つめてください。Gaze typing スピードを変更するには、タスクを実行する前に、ユーザーが注視する長さをボタンで調整します。Gaze typing スピードの調整ボタンは、左へ動かすとスピードが遅くなり、右へ動かすと速くなります。

サウンド・フィードバック:

- **オン** - Gaze keyboard 上でボタンを選択する際にサウンドフィードバックを有効にするには、オンを選択します。
- **オフ** - Gaze keyboard 上のボタンを選択する際にサウンドフィードバックを無効にするにはオフを選択します。

終了するには、OK を選択して保存するか、キャンセルを選択して変更をキャンセルします。

6.4.3.6 範囲ベースのキーボードと Gaze Selection の組み合わせ

Gaze Selection は、他のアイコントロールアプリケーションと組み合わせて使用することができます。他のアプリケーションの「視線有効化」範囲は、Gaze Selectionツールバーに有効のタスクがない限り、有効になります。スイッチでGaze Selectionを使用している場合、タスクボタンは「スティッキー」になります。タスクの選択を解除する必要がある場合は、選択したタスクを短時間見直してください。

6.4.3.7 「Windows フル・スクリーン・モード」での Gaze Selection



ウィンドウズ・フル・スクリーン・モードで画像や動画、ファイルを表示する際やプログラムを実行するためにGaze Selectionを使用する場合、Gaze Selectionタスクバーがカバーされます。

タスクバーのないウィンドウズ・フル・スクリーン・モードを終了するためには、ウィンドウズ・フル・スクリーン・モードで実行されるプログラムの左上にある「X」(注視で選択可能) で「ESC」コマンドがエミュレートされています。

ウィンドウズ・フル・スクリーン・モードを終了するには：

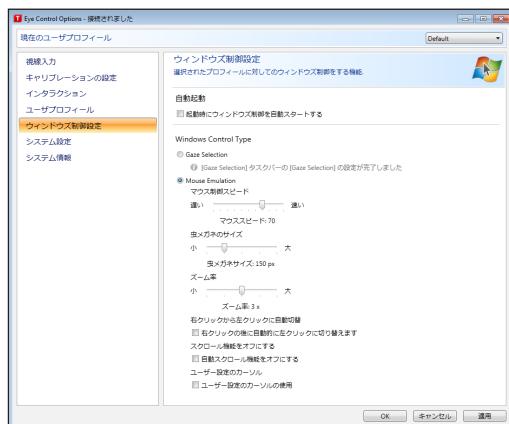
- 画面左上にある「X」の上に少しの間視線を置きます。アクティベートされている間、「X」が赤でハイライトされます。
- その後、ウィンドウズ・フル・スクリーン・モードが終了されます。

- ① ウィンドウズ・フル・スクリーン・モードで表示される色によっては、「X」が見にくことがありますのでご注意ください。最初に拡大され、その後縮小され、ユーザーの注意を引きます。**

6.4.4 Mouse Emulation

Mouse Emulation モードは、ユーザーが標準的なPCのマウスポインターを画面上でエミュレートし、制御することを可能にします。

6.4.4.1 Mouse Emulationのためのウィンドウズ制御のカスタマイズ



マウス制御スピード

- マウス制御スピード のスライダーを動かすことにより、マウス制御スピードをカスタマイズします。スライダーを右に動かすとスピードが増し、左に動かすと減少します。

虫メガネのサイズとズーム

- 虫メガネのサイズのスライダーを動かして、虫メガネのサイズをカスタマイズします。スライダーを右に動かすとサイズが増し、左に動かすと減少します。
- ズーム率 のスライダーを動かしてズーム率をカスタマイズします。スライダーを右に動かすとズーム率が増し、左に動かすと減少します。

右から左クリックへの自動切り替え

- ・ ウィンドウズ制御 Mouse Emulation によって希望するマウスクリック選択を自動的に切り替える(右クリック、を選択して実行した後、左クリック、に戻す)ようにする場合は、これにチェックします。

スクロール機能の無効化

- ・ 視線制御のスクロールをアクティブにしない場合は、**スクロール機能の無効化** チェックボックスをチェックします。

ユーザー設定のカーソル

ユーザー設定のカーソルは、Mouse Emulation モードでウィンドウズ制御を使用する際に、通常のマウスカーソルを様々な複数のカーソルに変える機能です。

様々なカーソルは、Mouse Emulationメニューから選択した視線制御用の「マウスクリック」のタイプを視覚的にあらわします (Mouse Emulationメニューのマークの定義については、**Mouse Emulationモードのウィンドウズ制御でのクリック**、**Mouse Emulation モードのウィンドウズ制御での拡大** および **Mouse Emulation 機能の選択**を参照してください)。

または + = カーソルタイプ (カーソルの移動、クリックなし)

+ = カーソルタイプ (シングル左クリック)

+ = カーソルタイプ (シングル右クリック)

+ = カーソルタイプ (左ダブルクリック)

+ = カーソルタイプ (右ダブルクリック)

または + = カーソルタイプ (ドラッグ) および (ドロップ)

または + = カーソルタイプ (動きなし)

- ・ ユーザー設定のカーソルのチェックボックスをチェックすると、Mouse Emulation モードのウィンドウズ制御用のユーザー設定カーソルがアクティブになります。

6.4.4.2 Mouse Emulation メニューの配置

メニューはデスクトップの任意の場所、または画面の縁に沿ってドックさせることもできます。Mouse Emulationメニューをドックするには、メニューを画面の端にドラッグします。また、移動アイコン  を押したままドラッグしても、移動ができます。メニューがドックされている場合、Mouse Emulationメニューの項目を表示するには画面の外側に目を向けなければなりません。



6.4.4.3 Mouse Emulation モードのウィンドウズ制御でのクリック

Mouse Emulationメニューの **ボタン** ドロップダウンリストから、どのような種類のマウスクリックを実行するのかを選択します。

-  右クリックすると、マウスの右クリックがシミュレートされます。
-  左クリックすると、マウスの左クリックがシミュレートされます。

6.4.4.4 Mouse Emulation モードのウィンドウズ制御での拡大

虫メガネを使うときは、虫メガネのアイコン、 をMouse Emulationメニューから選択します。

虫メガネでクリックを実行する場合：

1. 虫メガネを選択します。
2. 通常通りにその他のオプションを選択します。オプションはこれで、拡大状態を反映するように変更されました。

-  右クリックズーム
-  左クリックズーム

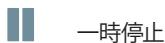
6.4.4.5 Mouse Emulation 機能の選択

クリックに様々な機能を設定するには：

-  マウスカーソル
-  画面上でのカーソルの動きなし
-  シングルクリック
-  ダブルクリック
-  ドラッグ・アンド・ドロップ

6.4.4.6 Mouse Emulation モードのウィンドウズ制御の一時停止

ウィンドウズ制御を一時停止するには、ウィンドウズ制御メニューの一時停止アイコンを選択します。



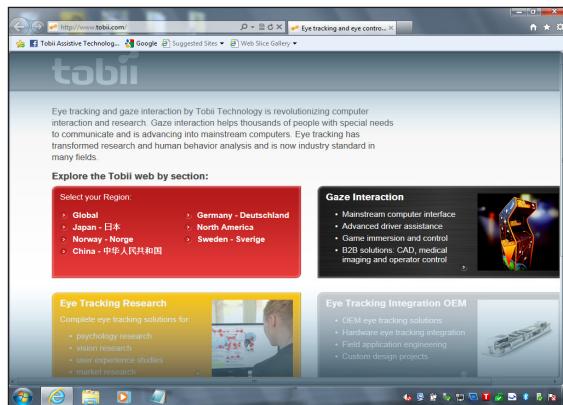
-  **W**ィンドウズ制御が有効になっていない場合、視線制御の一時停止は、Tobii CEye の下部/中央の Tobii ロゴのあたりを見てから、ポップアップ表示される一時停止アイコンを視線制御を使って選択することによって実行することもできます。



6.4.4.7 Mouse Emulation モードのウィンドウズ制御でのスクロール

スクロールできる全てのオブジェクトには、右上の角にスクロールボタンが自動的に現れます。ウィンドウがフォーカスされている時のみにボタンは現れます。スクロールするには  アイコンを押さえます。ボタンが邪魔をしている場合は、 アイコンを使ってボタンを非表示にできます。

スクロール・モードが有効な時は、陰影の付いたスライドがウィンドウ上に現れます。



スクロールするには、この陰影の付いた領域の上部または下部を見ます。

スクロール機能を無効にするには、**Tobii Eye Control Options > ウィンドウズ制御の設定 > スクロール機能の無効化**を選択します。

7

製品のお手入れ

7.1 温度と湿度

7.1.1 一般的の使用

Tobii C-series と Tobii CEye は室温で、乾燥した状態で最適に保管することができます。本デバイスに関する温度と湿度の推奨範囲は以下の通りです：

ポータブルモード：

- 温度: 0°C ~ 30
- 湿度: 最大 70% (デバイス上に結露がないこと)

装着モード：

- 温度: 0°C ~ 40°C
- 湿度: 最大 70% (デバイス上に結露がないこと)

7.1.2 移動と保管

バッテリー以外の移動と保管に関して、本デバイスの温度と湿度の推奨範囲は以下の通りです：

- 温度: -40 ~ 70
- 湿度: 20% ~ 70% (デバイス上に結露がないこと)

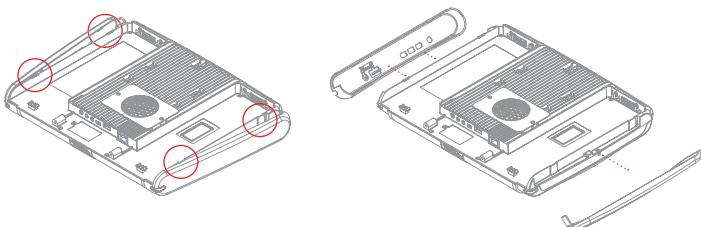
Tobii C-series と Tobii CEye は防水加工されておらず、耐水性はありません。デバイスは過度に湿度の高い、湿った、または濡れた状態で保存しないでください。本デバイスを水中やその他の液体の中に浸さないでください。液体が本デバイス上にこぼれないように注意してください。

7.2 サイドカバーの交換

サイドカバーを取り外すには：

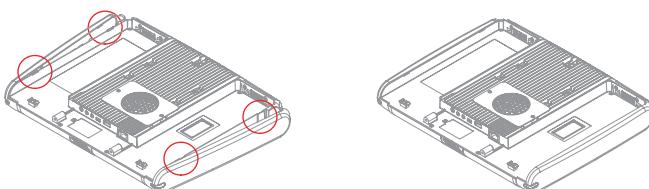
1. C-series の電源を切ります。
2. 電源アダプタとバッテリーを外します (バッテリーの装填と取り外しを参照してください)。
3. C-Series デバイスの画面を下向きにして、取り外すサイドカバーが自分から離れた側に向いた状態で平らな面に置きます。

4. デバイスの上下をしっかりと押さえて、突き出ているプラスチックのつまみ2つを、親指で自分から離れた方向に押し出します。多少力を加えるとつまみがゆるみ、サイドカバーは外れます。



サイドカバーをはめ直すには:

1. C-Series デバイスの画面を下向きにして、取り外すサイドカバーが自分から離れた側に向けて平らな面に置きます。
2. プラスチックのつまみをデバイスのスロットにあてます。
3. サイドカバーをデバイスの側面に押し付けます。取り付けが完了したらカチッと言う音がします。



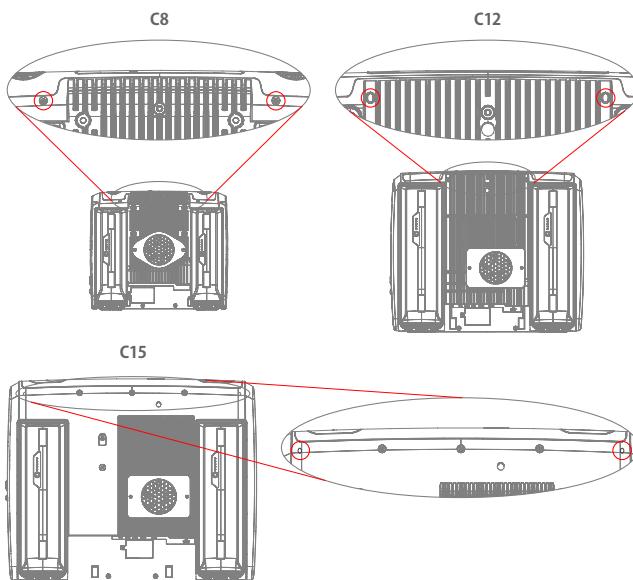
- ① デバイスの電源ボタンがある側にサイドカバーをはめ直すときは、必ずサイドカバーの穴から電源ボタン（およびその他のボタン）に手が届くように、電源ボタンがカバーの下に入り込まないようにしてください。入り込んでいる場合は、電源ボタンが押されると認識され、デバイスが起動しない場合があります。

7.3 クリーニング

C-Series はクリーニング前に終了し、コンセントを抜き、バッテリーを外してください。糸くずの無い、わずかに湿らせた柔らかい布を使用します。デバイスの穴や隙間に湿気が入らないようにしてください。窓ガラス用洗剤、家庭用洗剤、エアゾール・スプレー、溶剤、アルコール、アンモニア、または研磨剤は、デバイスの掃除に使わないでください。

7.3.1 スピーカーメッシュのクリーニング

霧吹き容器を使って、スピーカーメッシュに、水と食器用洗剤を混ぜたものを注意深くスプレーします。メッシュをふいて洗浄します。過剰な湿気がスピーカー本体に入った場合は、デバイス背面の排水穴を通って出でていったことを確認してください（図を参照）。



7.4 配置

納入業者が指定するアームやスタンドのみを用いて、これらが説明書どおりに正しく装着され、固定されていることを確認してください。デバイスは不安定で平らではない表面に置かないでください。

下部にファンがあるデバイス背面の換気口をふさがないでください。この口がふさがっていると、熱が発生し、故障または火災につながる恐れがあります。

7.5 C-Series デバイスの持ち運び

全てのケーブルを取り外し、運搬中はデバイスを両手で持つか、同梱のキャリーストラップショルダーストラップを使用してください(キャリーストラップショルダーストラップはCI5には含まれていません)。

デバイスを修理、発送または移動のために運送する際には、元の箱と梱包材を使ってください。

 CEye を CI2 または CI5 デバイスに取り付けている場合は、接続されたデバイスを CEye のみをつかんで運ばないでください。CEye 取り付け地点が CI2 または CI5 の重量を支えられずにデバイス同士が外れ、両デバイスが破損したり、CI2/CI5 が落下したりする可能性があります。

7.6 バッテリーの廃棄

バッテリーは一般家庭ごみ、または一般業務用ごみとして廃棄しないでください。バッテリーの廃棄にはお客様の地域の法規に従ってください。

7.7 C-Series デバイスの廃棄

C-Series デバイスは一般家庭ごみ、または一般業務用ごみとして廃棄しないでください。お客様の地域の、電気機器と電子装置廃棄に関する法規に従ってください。

8

付録

8.1 付録 A:トレーニング・リソース

Tobii では、C-Series 商品と関連通信商品用に、様々なトレーニング・リソースを提供しています。基本操作、ウェビナー、クリックガイドを盛り込んだトレーニング・リソースは Tobii のウェブサイト www.tobii.com にてご覧になれます。C-Series の基本操作はデバイスに装備、保存されています。

8.2 付録 B:CEye - ソフトウェアライセンス

CEye モジュールにはオープンソース・ソフトウェアが含まれています。契約条件については、付属のライセンス文書を参照してください。

8.3 付録 C: 準拠に関する情報

8.3.1 FCCステートメント

このデバイスはFCC規則の第 15 節に準拠しています。操作は次の2つの条件に従うものとします：(1) 本デバイスは、有害な干渉を引き起こさない、(2) 本デバイスは好ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、いかなる干渉にも順応する。

⚠ Tobii Technology により明示的に承認されていない変更を加えた場合、FCC (連邦通信委員会) 規則に基づき、ユーザーによる機器操作の権限が無効になることがあります。

本機器はテストされ、FCC 規則の第 15 節に従い、クラス B デジタル機器に関する規制に適合するものと認定されています。これらの規制は、住宅への設置における有害な干渉に対して、適切な保護を提供するように考案されています。本機器は、電磁波を発生・使用し、外部に放射することがあり、指示に従いインストールおよび使用されない場合は、無線通信に有害な干渉をもたらすことがあります。

しかし、特定のインストールで干渉が起きないという保証はありません。本機器がラジオまたはテレビの受信に干渉して害を与えることがないことを機器のオン・オフを行うことによって確認し、ユーザーは以下のいずれかの方法で干渉を正すことができます。

- 受信アンテナの配向を変えるか位置を変える。
- 機器と受信機の間の距離間隔を伸ばす。
- 機器を受信機の接続されている回路とは別の回路の壁コンセントにつなげる。
- 販売店または熟練したラジオ/テレビ技術者に相談する。

8.3.2 電波と比吸収率 (SAR) について

C-Series デバイスは、クラス I 医療機器として試験されています。このようないくつかの医療電気機器は、電磁環境両立性 (EMC) に関して特別な注意を必要とするため、本マニュアルに説明された情報に従って設置し、作動させる必要があります。

 本デバイスに備えられた、または組み込まれたもの以外のケーブルやアクセサリーの使用は、EMC の動作に影響を及ぼすことがあります。

FCC (米国) が指示する SAR (比吸収率) の限界は、1 グラムの組織に対し平均 1.6W/kg です。欧州/EU (CE 規制) では、これは 10 グラムの組織に対し平均 2.0 W/kg です。デバイス、Tobii C8 (FCC ID:W5MTOBIC8)、Tobii C12 (FCC ID: W5MTOBIC12B) と Tobii C15 (FCC ID:W5MTOBIC15) はこれら SAR 限界に対して試験済みであり、FCC/CE RF 被ばく要件に準拠しています。

本機器は、制御不能な環境に対する FCC RF 放射線被ばくに関する制限に準拠しています。

C8 デバイスの SAR 最高値は：1.025 W/kg です。C12 デバイスの SAR 最高値は 0.107 W/kg です。C15 デバイスの SAR 最高値は 0.16 W/kg です。

ガイダンスおよび製造業者の公表 - 電磁放射線		
C-Series は、以下に明記された電磁気環境での使用を意図されています。C-Series デバイスの顧客またはユーザーは、本デバイスはそのような環境で使用されることを請け合うことが必要です。		
放出試験	準拠	電磁気環境 - ガイダンス
RF(高周波) の放出 CISPR II	グループ I	C-Series は、その機能の目的を果たすために電磁エネルギーを放ちます。そのため、近くの電子機器に影響が出ることがあります。
RFの放出 CISPR II	クラス B	
高調波の発生 IEC 61000-3-2	該当なし	製品の有効電力は、定格荷重条件で $P \leq 75$ W です。そのため、適用される制限はありません。
電圧変動/ フリッカー発生 IEC 61000-3-3	該当なし	製品の有効電力は、定格荷重条件で $P \leq 75$ W です。そのため、指針値以上で電圧変動またはフリッカーを発生させる恐れはほとんどありません。

 C-Series デバイスは、他の機器と隣り合わせ、または重ねて使用しないでください。

ガイダンスおよび製造業者の公表 - 電磁環境耐性			
C-Series デバイスは、以下に明記された電磁気環境での使用を意図されています。C-Series デバイスの顧客またはユーザーは、本デバイスはそのような環境で使用されることを請け合うことが必要です。			
電磁波耐性試験	IEC 60601 試験水準	準拠レベル	電磁気環境 - ガイダンス
静電放電 (ESD) IEC 61000-4-2	± 6 kV 接触放電 ± 8 kV 気中放電	± 6 kV 接触放電 ± 8 kV 気中放電	床は木製、コンクリート、またはセラミックタイル。床が合成材料で覆われている場合、相対湿度は最低 30 %。
電気高速過渡/裂傷 IEC 61000-4-4	± 2 kV (電源引込線) ± 1 kV (入出力線)	± 2 kV (電源ライン) ± 1 kV (入出力ライン)	電源プラグの品質は、一般業務または病院環境のもの。
電圧変化 IEC 61000-4-5	± 1 kV (ライン間電圧)	± 1 kV (ライン間電圧)	電源プラグの品質は、一般業務または病院環境のもの。
電源入力ラインにおける電圧デイップ、短時間停電および電圧変化。 IEC 61000-4-II	< 5 % U_T (>95 % U_r のデイップ) 0.5 サイクル間 40 % U_r (60 % U_T のデイップ) 5 サイクル間 70 % U_r (30 % U_T のデイップ) 25 サイクル間 < 5 % U_T (>95 % U_r のデイップ) 5 秒間	< 5 % U_T (>95 % U_r のデイップ) 0.5 サイクル間 40 % U_r (60 % U_T のデイップ) 5 サイクル間 70 % U_r (30 % U_T のデイップ) 25 サイクル間 < 5 % U_T (>95 % U_r のデイップ) 5 秒間	電源プラグの品質は、一般業務または病院環境のもの。 電源が中断している間に、C-Series デバイスのユーザーが引き続き操作を行う必要がある場合、C-Series デバイスのバッテリーを定位位置に取り付けるか、またはデバイスの電源供給が無停電電源装置(UPS)から行われるようにすることをお勧めします。 U_r は 100 VAC 60 Hz または 230 VAC 50Hz。
電力周波数 (50/60 Hz) 磁場 IEC 61000-4-8	3 A/m	3 A/m	電力周波数磁場は、標準的な商用または病院環境と同じであることが望ましい。

ガイダンスおよび製造業者の公表 - 電磁環境耐性			
C-Series デバイスは、以下に明記された電磁気環境での使用を意図されています。C-Series デバイスの顧客またはユーザーは、本デバイスはそのような環境で使用されることを請け合うことが必要です。			
電磁波耐性試験	IEC 60601 試験水準	準拠レベル	電磁気環境 - ガイダンス
伝導 RF IEC 61000-4-6	3 Vrms 150 kHz ~ 80 MHz	3 V	<p>ポータブルおよび携帯 RF 通信機器は、ケーブルを含む C-Series デバイスのあらゆる部分に、送信器の周波数に適用される方程式から計算された推奨分離距離よりも近付けて使用してはいけません。</p> <p>推奨分離距離</p> $d = \frac{3.5}{3} \sqrt{P} \quad 150 \text{ kHz} \sim 80 \text{ MHz}$
放射 RF IEC 61000-4-3	3 V/m 80 MHz ~ 2.5 GHz	3 V/m	$d = \frac{3.5}{3} \sqrt{P} \quad 80 \text{ MHz} \sim 800 \text{ MHz}$ $d = \frac{7}{3} \sqrt{P} \quad 800 \text{ MHz} \sim 2.5 \text{ GHz}$ <p>送信器の製造業者によると、「P」が送信器の最大出力電力定格(ワット(W))であり、「d」が推奨分離距離(メートル(m))の場合。</p> <p>電磁気の実地調査によって定められたように、固定 RF 送信器からの磁界強度は、各周波数範囲内の準拠レベルより小さくなってはいけません。^b</p> <p>以下のマークが付いた装置の近くでは、干渉が発生する場合があります。</p> 

注記 1 80MHz および 800MHz では、より高い周波数範囲が適用されます。

注記 2 これらのガイドラインは、全ての状況に適用されないこともあります。電磁伝搬は吸収によって影響を受け、建造物、物、人々から反射されます。

- a. 無線通信の基地局、(携帯/コードレス)電話および陸上移動無線、アマチュア無線、AM および FM ラジオ放送、および TV 放送などの固定送信器からの磁界強度は、理論上、正確に予測することはできません。固定 RF 送信器による電磁気環境を評価するには、電磁気の実地調査の実施を考慮してください。C-Series デバイスが使用されている場所の測定された磁界強度が上記の適切な RF 準拠レベルを超える場合、C-Series デバイスを調べ、動作が正常であることを確認する必要があります。異常な動作が見られた場合は、C-Series デバイスの方向や位置を変えるなどの対策が必要な場合があります。
- b. 周波数範囲が 150 kHz ~ 80 MHz を超える場合、磁界強度は 3 V/m 未満です。

ポータブルおよび携帯 RF (高周波) 通信機器と C-Series デバイス間の推奨分離距離。

C-Series デバイスは、放射 RF 妨害が制御された電磁気環境での使用を意図されています。C-Series デバイスの顧客またはユーザーは、通信機器の最大出力電力に従い、以下に記載されたポータブルおよび携帯 RF 通信機器 (送信器) と C-Series デバイス間の最小距離を維持することで、電磁気の干渉を防ぐことができます。

送信器の定格最大出力電力 W	送信器の周波数による分離距離		
	150 kHz ~ 80 MHz	80 MHz ~ 800 MHz	800 MHz ~ 2.5 GHz
0.01	0.12 m	0.12 m	0.24 m
0.1	0.37 m	0.37 m	0.74 m
1	1.2 m	1.2 m	2.4 m
10	3.7 m	3.7 m	7.4 m
100	11.7 m	11.7 m	23.4 m

6.2.I.10 EN 60 601-I-2 (2007) に明記された試験仕様の下、C-Series デバイスは以下に該当しないものとします:

- コンポーネントの故障
- プログラム可能なパラメーターにおける変更
- 工場出荷時設定への意図されないリセット
- 間違った警報を出す
- アラームが伴う場合でも、意図されない動作が開始される

6.2.1.10 EN 60 601-1-2 (2007) に明記された試験仕様に関しては、アラームが伴う場合でも、セーフティクリティカルな動作は実行されないという理由から、意図された動作の停止や中断は C-Series デバイスにおいて許可されています。

また、6.2.1.10 EN 60 601-1-2 (2007) に明記された試験仕様に関して、診断や治療に影響を与えるほど大きな数値の誤りが表示されることはない、C-Series デバイスには当てはまりません。

クラス I 医療機器としての準拠を維持するために、C-Series デバイスと組み合わせて使用されるスイッチは、15 V DC に基にしたIEC/EN 60601-1 純縁要件を満たさなければなりません。すなわち、電気的に浮いているスイッチ（接地されていないスイッチ）でなければなりません。

8.3.3 カナダ産業省のステートメント

本デバイスは、カナダ産業省の免許取得不要技術基準 (RSS) に準拠しています。操作は次の2つの条件に従うものとします： (1) 本デバイスは、干渉を引き起こさない、(2) 本デバイスは、本デバイスの好ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、いかなる干渉にも順応する。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

本デバイスは、一般社会（制御不能な環境）における限界(1.6W/Kg)を定めるRSS-102の、電波 (SAR)への暴露に関する安全要件について試験されています。C8 デバイスの SAR 最高値は： 1.025 W/kg です。C12 デバイスの SAR 最高値は 0.107 W/kg です。C15 デバイスの SAR 最高値は 0.16 W/kg です。本デバイスは、機器とユーザーの身体との間の距離が最低0cmで安全に作動させることができます。

Ce dispositif a été testé aux exigences de sécurité pour l'exposition aux ondes radio (SAR) dans le CNR-102 à le grand public (environnement non contrôlé) des limites (1.6W/Kg). La valeur maximale mesurée est de SAR pour le C8 dispositif est: 1.025 W/kg. La valeur maximale mesurée est de SAR pour le CI2 dispositif est: 0.107 W/kg. La valeur maximale mesurée est de SAR pour le CI5 dispositif est: 0.16 W/kg. Ce dispositif peut être exploité en toute sécurité avec un 0 cm distance minimale entre le matériel et les corps de l'utilisateur.

本クラス B デジタル装置は、カナダ ICES-003 に準拠しています。

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

8.4 付録 D:技術仕様書

標準	Tobii C8	Tobii C12	Tobii C15
型式番号	T-C84-R1.0A-V0	T-C12-R1.0A-V1	T-C15-R1.0A-V0
画面	8.4 インチ、抵抗感圧式タッチパネル、CCFL バックライト付き	12.1 インチ、抵抗感圧式タッチパネル、CCFL バックライト付き	15.0インチ、抵抗感圧式タッチパネル、LED バックライト付き
画面解像度	800 x 600 画素	1024 x 768 画素	1024 x 768 画素
寸法□WxHxD□	9.4" x 7.9" x 1.5" 23.9 x 20.1 x 3.8 cm	12.3" x 10.4" x 1.8" 31.2 x 26.4 x 4.6 cm	14.6" x 11.8" x 2.2" 37.0 x 30.0 x 5.7 cm
重量	4.0 lbs 1.8 kg	6.5 lbs 2.9 kg	8.8 lbs 4.0 kg
スピーカー	2 一体型	2 組 一体型	
マイクロホン		2 一体型	
プロセッサー	Intel Core Duo U2500 / 1.2 GHz		
RAM	2GB DDR2		
オペレーティング□システム	Microsoft Windows 7		
ハードディスク・ドライブ	60GB		
SD カード	1GB		
コネクタ	2 x USB 2.0 1 x Mini USB 2.0 イーサネット (1 x RJ45) 2 x 1/8" スイッチ 1 x 1/8" ヘッドホン (ステレオ) 1 x DC 2.5/5.5 mm		
WLAN (オプション)	IEEE 802.11 b/g	IEEE 802.11 b/g/n	
ブルートゥース (オプション)		クラス 2 v2.1 + EDR	
携帯電話 /GSM (オプション)	トライバンド (900、1800、1900 MHz)	クアドバンド (850、900、1800、1900 MHz)	
ECU (環境制御ユニット)		Tira-2.1	
バッテリー時間	～6時間	～5時間	～5時間
カメラ		640x480 画素	
デスクスタンド		一体型	
サポートされる装着システム	Vesa, Daessy, Rehadapt, CJT 用ブラケット (オプション)		
パワーサプライ		パワーボックス EXM 80 5121 (24V)	

RF フリー	Tobii C8	Tobii C12	Tobii C15
型式番号	Tobii C8 RF フリー	Tobii C12 RF フリー	Tobii C15 RF フリー
画面	8.4 インチ、抵抗感圧式タッチパネル、CCFL バックライト付き	12.1 インチ、抵抗感圧式タッチパネル、CCFL バックライト付き	15.0インチ、抵抗感圧式タッチパネル、LED バックライト付き
画面解像度	800 x 600 画素	1024 x 768 画素	1024 x 768 画素
寸法□WxHxD□	9.4" x 7.9" x 1.5" 23.9 x 20.1 x 3.8 cm	12.3" x 10.4" x 1.8" 31.2 x 26.4 x 4.6 cm	14.6" x 11.8" x 2.2" 37.0 x 30.0 x 5.7 cm
重量	4.0 lbs 1.8 kg	6.5 lbs 2.9 kg	8.8 lbs 4.0 kg
スピーカー	2 一体型	2 組 一体型	
マイクロホン		2 一体型	
プロセッサー	Intel Core Duo U2500 / 1.2 GHz		
RAM	2GB DDR2		
オペレーティング□システム	Microsoft Windows 7		
ハードディスク・ドライブ	60GB		
SD カード	1GB		
コネクタ	2 x USB 2.0 1 x Mini USB 2.0 イーサネット (1 x RJ45) 2 x 1/8" スイッチ 1 x 1/8" ヘッドホン (ステレオ) 1 x DC 2.5/5.5 mm		
ECU (環境制御ユニット)	Tira-2.1		
バッテリー時間	~6時間	~5時間	~5時間
カメラ	640x480 画素		
デスクスタンド	一体型		
サポートされる装着システム	Vesa, Daessy, Rehadapt, CJT 用 ブラケット (オプション)		
パワーサプライ	パワーボックス EXM 80 5121 (24V)		

Tobii CEye

作業距離 (最適)	23.5 インチ 60 cm
目/頭の動き用のトラックボックス (幅 高さ □奥行き)	15.7 x 11.8 x 7.9 インチ 40 x 30 x 20 cm
頭の動きのスピード (最適)	11.8 インチ/秒 30 cm/秒
注視データ率	可変、最大 40 Hz
注視推定精度	0.8 度
重量	12.3 oz 350 g

8.5 付録 E:承認済みのアクセサリー

最新の承認済み Tobii アクセサリーに関する情報については、ウェブサイト（www.tobii.com）をご覧になるか、地域の Tobii 再販店にご連絡ください。



www.tobii.com

Tobii サポート

スウェーデン

電話:+46 8 522 950 20

support@tobii.com

サポート受付時間：8 am～6 pm
7月～8月：9 am～5 pm
(中央ヨーロッパ標準時、GMT+1)

ドイツ

電話:+49 69 24 75 03 4-28

support@tobii.com

サポート受付時間：8 am～6 pm
7月～8月：9 am～5 pm
(中央ヨーロッパ標準時、GMT+1)

アメリカ

フリーダイヤル:

+1-800-793-9227

電話:+1-781-461-8200

techsupport@tobiiATI.com

サポート受付時間：9 am～9 pm
(米国東部標準時、GMT-6)

日本

電話:+81-3-5793-3316

support.jp@tobii.com

サポート受付時間：9 am～5:30 pm
(日本標準時、GMT+9)

ヨーロッパ、中東、アフリカ Tobii Technology AB

Karlnovägen 2D
S-182 53 Danderyd
スウェーデン

電話:+46 8 663 69 90
ファックス:+46 8 30 14 00

www.tobii.com
sales@tobii.com

中央ヨーロッパ Tobii Technology GmbH

Niedenau 45
D-60325 Frankfurt am Main
ドイツ

電話:+49 69 24 75 03 40
ファックス:
+49 69 24 75 03 429

www.tobii.com
sales.de@tobii.com

ノルウェー Tobii Norge

Thormehlens gate 55
5008 Bergen
ノルウェー

電話:+47 55 55 10 60
ファックス:+47 55 55 10 61

www.tobii.com
sales.no@tobii.com

アジア Tobii Technology, Ltd.

108-0074 東京都
港区高輪
3-4-13

電話:+81-3-5793-3316
ファックス:+81-3-5793-3317

www.tobii.com
sales.jp@tobii.com

北米 Tobii ATI

333 Elm Street
Dedham, MA 02026
米国

フリーダイヤル:800-793-9227
電話:781-461-8200
ファックス:781-461-8213

www.tobiiATI.com
sales.us@tobii.com